



第131号

# Web Fairy Paradise

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第111回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第112回 WFP 作品展
- ・ Fairy of the Forest #59
- ・ 祝改元(令和)作品展

結果発表

- ・ 第110回 WFP 作品展
- ・ カピタン展示室 No.30(占魚亭作)

読み物

- ・ FairyTopIX2018 お気に入り投票結果

改訂:2019/5/23



2019/5

## はじめに

---



### 新聞

4月末だったか、新聞を読んでいたら次のような文章が載っていた。(どなたかのエッセイだったかと思うのですが、書き留めていなかったので出典が不明で申し訳なし)

「<老人が、どっこいしょ、と言って立ち上がった>と書いて叱られたことがある。このときも筆書きの手紙だった。

「どっこいしょ、というのは座るときの言葉である。立ち上がるときには、ヨッコラショと言うべきだ」

とある文章を載せた時の読者からの苦情の話とある。皆さんはどう思うだろうか？言われてみればという気もするが、自分で使い分けをしてはいない。

というわけで勝ってまだあまり使っていない「三省堂国語辞典(広島東洋カープ仕様)」で引いてみた。

#### どっこいしょ (感)

① {老人が、また、疲れているときなどに} 動作が大儀(タイギ)であると発する声。よっこらしょ。

②力を入れて動作をするときに発する声。

座る時、立ち上がる時には関係ないようですね(笑) ちなみにたくぼん家では、私と娘あんなは、「よっこいしょういち」を愛用しております。ハイ。

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第131号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : [takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

協力いただいている方々のHPアドレス

\*ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://cavesfairy.gl.xrea.com/pub/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

#### 占魚亭残日録

<https://senkyotei.hatenablog.com>

# 第111回WFP作品展(再掲)及び 第112回WFP作品展 担当：神無七郎

## フェアリー詰将棋の紀元

今月から元号が「令和」になりました。  
 世界には様々な暦法がありますが、その多くは重要な人物や出来事を元に「元年」を定め、それを基準に歴史を記述します。  
 もし、フェアリー詰将棋で「元年」を定めるとしたら、それはいつでしょうか？  
 私の意見では、それは西暦 1970 年です。  
 この年に、加藤徹氏の長編ばか詰が発表され、フェアリー詰将棋に対する人々の認識が一変したからです。

加藤徹作  
 ばか詰 163手  
 9 8 7 6 5 4 3 2 1

							馬			一
							玉			二
	と	歩								三
歩										四
と										五
	桂	桂	歩	桂	角	歩	桂			六
と	歩	金	銀	金	歩	金	歩			七
		香		歩		香	銀			八
	香				王		金	香		九

持駒 なし  
 (詰将棋パラダイス、1970年6月、修正図)

これ以前にも変則詰将棋は散発的に登場していましたが、「ばか詰」も1961年には既に提唱されていました。

しかし、この作品が発表される以前は、変則詰将棋それ自体に真面目に探究する価値があるとは考えられていませんでした。変則詰将棋はあくまで一時の気分転換や諧謔が目的であり、「たまには変わったルールの詰将棋をどうぞ」といった趣旨の枕言葉を添えて出題されるのが常だったのです。

当初発表された原図には早詰がありました(上で紹介したのは修正図)が、それは「ばか詰」の持つ底知れぬ可能性、ひいては変則詰将棋全般の持つ大きな可能性を示す障害にはなりません。翌年、詰パラ 190号(1971年

10月)から「ばか詰教室」が始まり、そこからフェアリー詰将棋の本格的な歴史が始まります。

これまで、WFP作品展の前口上ではその時々で筆者が関心を持ったトピックを気ままに選んでいたのですが、ここからしばらくフェアリーの歴史に沿った話を続けたいと思います。これにはちょっとしたきっかけがあったのですが、約半世紀を迎えるフェアリー詰将棋の節目には合っていると思います。

念のために書いておくと、これから書こうとしているのはあくまで筆者の視点から見たフェアリーの歴史です。記述の順番も時系列を外れて前後することがあるでしょう。ただ、古参のフェアリー愛好家が自分のフェアリー観を披露することにも一定の価値はあると思います。読者の皆さんは自分なりの解釈と照らし合わせながら、これからの記事を読んでいただければ幸いです。

それでは、今月のWFP作品展の紹介です。

今回の出題は第111回の再掲載分と、第112回の新規出題分です。

第112回も前回に引続き全17題の大量出題。複数解を求める問題もあるので、実質は19題です。幸い、第112回は解答募集期間が通常より長いので、その時間を有効に利用して解図を行ってください。

### 【第111回作品展各題への補足説明】(再掲)

第111回の出題は何と全17題。内訳は神無太郎氏5題、占魚亭氏3題、一乗谷酔象氏1題、Pontamon氏2題、たくぼん氏2題、変寝夢氏2題、尾形充氏2題です。単に出題数が多いだけでなく、難問も目白押しなので試練の回と言えるでしょう。限界への挑戦のつもりで全題正解を目指すか、易しそうな作を狙って解くか、逆に一番難しいものに狙いを絞るか……それは解答者の皆さんにお任せします。

111-1~111-5は前回、前々回に引き続き神無太郎氏によるImitator+中立駒の作品。玉以外の駒がすべて(受方の持駒も含め)中立駒になっているという設定の問題です。この5題にはある共通性があるので、どれか解ければそれがヒントになります。第109回の作品も参考にしてください。

111-6~111-8は占魚亭氏によるImitator作

品の三姉妹。よく似た姉妹ですが、玉位置やルールが少しずつ違っています。ヒントはちょっと出しにくいのですが、担当の予想では **111-7** が一番易しく、**111-6** が最も難しいと思います。でも、担当の予想が正しいとは限らないので、あくまで自分の感覚を優先してください。

**111-9** は一乗谷酔象氏の推理将棋。氏が本作品展に投稿する推理将棋は、「究極の手順」を求めるタイプの作品が多いのですが、本作も連続逆王手 28 回（最初の王手も入れると 29 連続王手）という、途轍もない手順を求める問題です。条件が 10 個もあるので大変そうに見えますが、まずは最初の 2 つの条件を満たす解を求めてください。この 2 つを満たす解は準正解として 1 点、すべての条件を満たす解は 2 点で解答成績に計上します。連続逆王手のイメージが湧かない方は、「おもちゃ箱」の「記録に挑戦!」「4-2 1 連続逆王手回数」(<http://www.ne.jp/asahi/tesu/toybox/challenge/index4.htm#kiroku4c>) が参考になると思います。

**111-10** と **111-11** は Pontamon 氏の推理将棋。両作とも「連続」がキーワードです。また、**111-11** で「成香の着手は、香の着手ではないよ」という台詞がありますが、これは成香の着手と生香の着手は（たとえそれが物理的に同一の駒でも）区別するということです。なお、手数短い 11 手の方が後になっているのは、投稿順に出題番号を振る本作品展の方式を作者が読んでのこと。見事、狙い通りゾロ目を獲得しました。

**111-12** と **111-13** はたくぼん氏の協力自玉詰。共に受方持駒制限があります。**111-13** では手数の確認も忘れずに！

**111-14** と **111-15** は変寝夢氏の All-in-Shogi。どちらも詰上りは All-in-Shogi 独特のもので、直前の局面に戻せないことを利用した詰上りを目指してください。

**111-16** と **111-17** は尾形充氏の作品。**111-16** の PWC は駒が消えないルールなので、スタイルメイトにするには「手筋」が必要です。**111-17** の最善自玉詰は今回唯一の対抗系ルール。前回の **110-11** と異なり「同手数駒余り」に関する規定は不要です。純粋に攻方最短・受方最長の手順を求めてください。

#### 〔第 112 回作品展各題への補足説明〕

第 112 回の出題は全 17 題。複数解を求める作品もあるので実質 19 題です。内訳は神無太

郎氏 4 題、占魚亭氏 6 題（実質 8 題）、Pontamon 氏 2 題、変寝夢氏 4 題、青木裕一氏 1 題です。大量の作品に圧倒されますが、解等募集期間も通常より一ヶ月長いので、この時間を有効に活用して解図を行ってください。

**112-1**～**112-3** 及び **112-4** は神無太郎氏の作品。このうち **112-1**～**112-3** はシリーズで出題されている Imitator+中立駒の作品です。玉以外の駒がすべて中立駒になっているという問題設定も共通しています。かなり手応えがある作品群なので、過去のシリーズ作品を参考に解いてください。

**112-4** はこれらシリーズ物とは独立の作品。「結婚したのが平成元年 5 月で結婚 30 周年記念です」とのことなので、お祝いにぜひ解答をお寄せください。この作品では Knight（騎）と Rook-Grasshopper（城）という 2 種のフェアリー駒が使われており、攻方玉は騎の利き、受方玉は城の利きになっています。各玉は騎と城の偏を「王」にした「琦」と「城」で表していません。単純に言えば、強力な 46 の八方桂をどうやって包囲するかという問題ですね。

**112-5**～**112-10** は占魚亭氏の点鏡作品。このうち **112-8** 及び **112-9** は 2 解あるので、なるべく両方の解を求めてください。**112-5**～**112-9** はどちらかと言えば練習問題的ですが、**112-10** は点鏡で Imitator を使うという新しい試みです。なお、Imitator は「性能」を持っていないので、点鏡ルールの適用対象外です。Imitator と対称位置にあるからといって、Imitator と通常駒が「性質」を交換することはありません。

**112-11** と **112-12** は Pontamon 氏の推理将棋。両方共角の使い方が鍵を握っています。**112-11** は軌跡の「交差」と「重なり」がなかったという条件があり、この 2 つの用語について作者自身による詳しい説明が付いています。条件 3) にも注釈があるので、ここに掲載します。

#### 〔112-11 補足説明〕

- ※ 1 軌跡の交差と重なりについての説明
- ▲ 33 角不成の後に 55 へは戻れない。また、33 の先手角が移動した後、後手の△55 角も不可（どちらも軌跡が重なる）
  - 先手の▲ 33 角不成の軌跡に対して後手の 53 の角が△44 角や△35 角は交差なので不可
  - ▲ 33 角不成を△同角とは取れない（同一地

- 点や軌跡の地点への着手は交差と見做す)
- ・▲33 角不成の後で▲22 角成とか▲24 角成は自分の継続手なので 33 地点は交差とは見做さない
- ・移動する前の初期配置の角を角や馬で取るのは可 (まだ軌跡になっていないので)
- ・角を打つ手は移動としてはカウントしない

※2 相手が動かした駒が居た地点への着手ではない。初手 76 歩で 3 手目 77 桂は不可。77 桂は 5 手目以降であれば可。

112-12 には棋譜に「角左」及び「馬左」という表記があったという大きな情報があるので、この情報をフル活用して解いてください。見た目はずいぶん違う 2 作ですが、両方解くと、共通点が感じられると思います。

112-13～112-16 は変寝夢氏による様々なルールの作品群。

112-13 は只今大流行の点鏡作品。持駒は歩 2 枚だけですが、これでも自玉を詰めるのに困らないというのは点鏡らしい所ですね。

112-14 は作者お得意の「リパブリカン」ですが、更に Leo というフェアリー駒を使っています。これは中国象棋の Pao を Queen 方向の利きに拡張した駒です。表記は Pao と同じく「包」を使っていますが、これは便宜上のことなので、利きは Leo だということを忘れないでください。受方持駒制限もありますし、初手の王手が 2 通りしかないので、意外と手を付けやすい作品だと思います。

112-15 はレトロ協力詰。20 手逆算して 1 手詰を作れという問題です。逆算手数は長いですが、詰型の想定さえ誤らなければ容易に解ける問題だと思います。

112-16 はボカスカ+中立駒の長編。ボカスカと中立駒の組み合わせでは北村太路氏の作品 (WFP84-7、WFP100-8) や、変寝夢氏自身の作品 (WFP103-10) がありますが、これらはいずれも中立駒同士が同期して動くものでした。本局では中立駒と通常駒の同期が試みられています。つまり、同種の中立駒と通常駒は「手番」が通常駒の所属と一致するときに同期して動くというルール設定です。このようなルール設定からどんな手順が現れるか、実際に解いて確かめてください。

112-17 は青木裕一氏による「駒余り禁」の作品。詰上りで攻方の持駒が余る解答は失敗です。

ただし、「詰」の概念自体を変えるものではありません。あくまで手順の最後で攻方持駒が余る手順を失敗とするだけです。以前、fm では「限定」(駒を余らせず指定手数で詰める) というルールがサポートされていましたが、「駒を余らない」と「指定手数ぴったりで」は別の概念なので、今はこの 2 つを分離しています。fmza では「駒余り禁」は「!NPL」、「手数指定」は「!JD」で指定できるので、興味のある方はお試しください。

## 解答要項

第 111 回分解答締切:2019 年 6 月 15 日(土)

第 112 回分解答締切:2019 年 8 月 15 日(木)

宛先: [k7ro.ts@gmail.com](mailto:k7ro.ts@gmail.com) (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

## 作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。)宛先は解答と同じ [k7ro.ts@gmail.com](mailto:k7ro.ts@gmail.com) へ。

メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

## WFP 作品展: 今後の予定

7 月は「氾濫」結果稿の作成と重なるため、6 月号の新規出題と 7 月の結果稿はお休みさせていただきます。今後の予定は以下のようになっていますので、あらかじめご承知ください。

	6 月	7 月	8 月
第 111 回	結果		
第 112 回	再掲	再掲	結果
第 113 回		出題	再掲
第 114 回			出題

## ルール説明

※WFP のページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule97.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

### 【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

### 【Imitator】(■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

### 【中立駒】(「」あるいは「n 駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横に n を付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる (利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7) 中立駒でも 自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

### 【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

### 【AntiAndernach】

駒を取らない盤上の移動 (駒を取る及び持駒を打つ以外の着手) を行うと、着手後に相手の駒となる (玉を除く)。

(補足)

・細則は Andernach と同様で「駒取り」を「駒を取らない盤上の移動」に読み替える。

- 1) 駒を取らない盤上の移動で二歩になる場合相手の駒にならない
- 2) 駒の向きの転換は成生の選択の後に行われ、成生の選択権は駒を取った側にある
- 3) 駒を取らない盤上の移動の場合に限り、8 段目への桂の不成、9 段目への桂香歩の不成が可能 (二歩の例外を除く)

### 【スタイルメイト】

王手は掛かっているが合法手のない状態にする。

### 【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする。

### 【推理将棋】

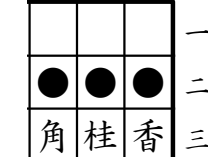
将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

### 【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。

飛び越すことは可能。

例えば左図で、



12 香や 11 香成は不可。

22 角や 11 角は不可。

11 桂成や 31 桂成は可。

### 【点鏡】

55 に関して点対称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

- ・行き所のない駒の禁則は適用されない
- ・Imitator に点鏡ルールは適用されない

### 【All-in-Shogi】

双方とも、自分の手番のときに相手の駒を動かすこともできる。敵玉を王手がかかる位置に動かしてもいいし、敵の持駒を打ってもいい。ただし、双方とも 1 手前の局面に戻すような着手は禁手とする。(WFP122 号参照)

(補足)

- 1) 相手側の駒を動かすとき、自分側の駒を取らせることはできるが、相手側の駒を取らせることはできない
- 2) 相手側の駒で自分側の駒を取らせたとき、その駒は相手側の持駒となる
- 3) 自玉を取らせる手は反則

### 【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2) 位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。

### 【最善詰】

攻方は受方がなるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。  
(補足)

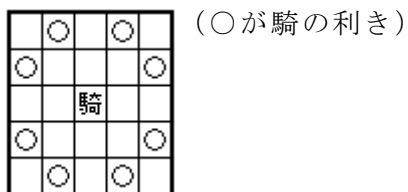
- いわゆる普通の詰将棋から枝葉（無駄合概念や、駒が余るかどうかで手順に優劣を付ける規則）を取り除き、攻方最短を義務化したもの。攻方最短・受方最長のみが正解で、長手数数の余詰は不問。

#### 【白玉詰】

攻方は白玉を詰めるよう王手を掛け、受方はそれを妨げるよう応じる。

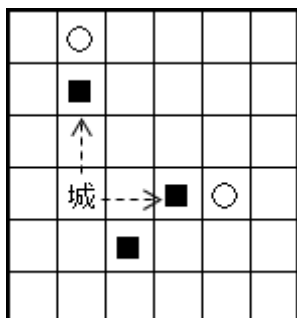
#### 【Knight】（騎）

チェスの Knight。八方桂。



#### 【Rook-Grasshopper】（城）

Grasshopper の動きを縦横に制限したもの。縦または横方向にある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(■は何らかの駒。  
○が城の利き)

#### 【受先】

受方から指し始める。

#### 【リパブリカン】

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。  
(補足)

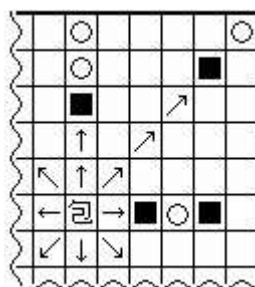
- 1) 双玉等において詰める対象でない玉は通常の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する
- 2) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。ただし、最終手では玉を置いた後の配置で合法局面かどうかの判定を行う。
- 3) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。自

玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

#### 【Leo】（包）

フェアリーチェスの Leo。

中国象棋の Pao の利きの方向をクィーンにしたもの。駒を取らずに動く時はクィーンと同じ。駒を取る時はクィーンの方に1枚だけ駒を跳び越えて動く。



(矢印が Leo の動く方向。○は Leo が駒を取る時の利き。■は敵または味方の駒。駒を2枚跳び越すことはできない。)

#### 【レトロ -m+n 手】

m 手逆算して n 手で詰む手順を求める。

(補足)

- 1) 特に注釈のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする
- 2) 協力系の場合逆算も双方が協力する。また、指定より短い手数逆算や短い手数詰手順が成立する場合、それが優先される。

#### 【ボカスカ】

盤上にある同じ所属の同じ種類の駒は、すべて同時に同一方向に動かす。

(補足)

- 1) 成駒と生駒は別種とみなす
- 2) 動かさない駒があれば動かせるだけ動かす。
- 3) 成・不成は1枚毎に自由。持駒も同じ種類の駒はすべて同時に打つ。
- 4) 歩だけは例外で打つのも動くのも単独。

**5) 中立駒と現手番の駒は、同じ所属の駒として扱う**

#### 【駒余り禁】

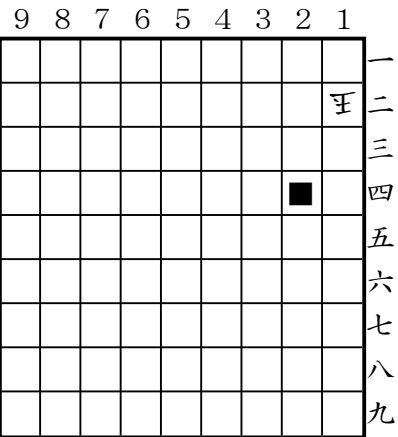
最後に攻方持駒が余ってはいけない。



<第 111 回>解答締切:2019 年 6 月 15 日(土)

■ 111-1 神無太郎氏作

協力詰 5手



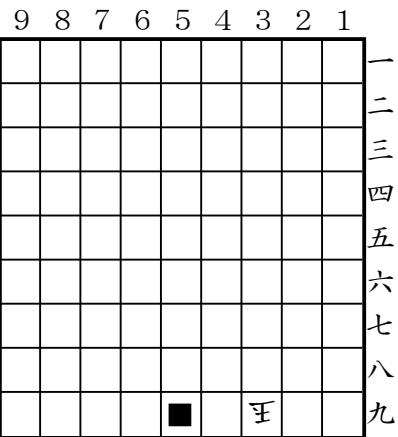
持駒 n飛

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 111-2 神無太郎氏作

協力詰 5手



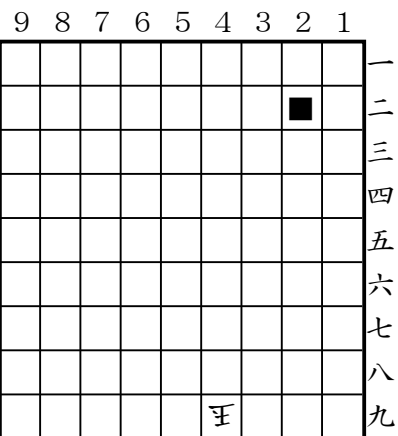
持駒 n飛

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 111-3 神無太郎氏作

協力詰 7手



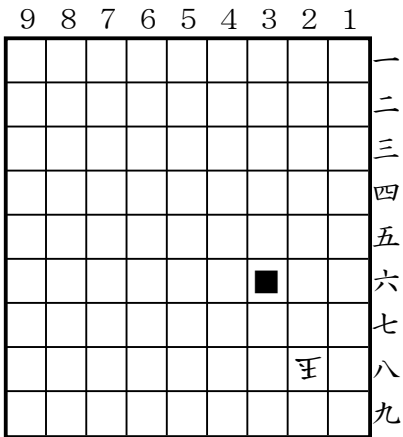
持駒 n銀2

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 111-4 神無太郎氏作

協力詰 7手



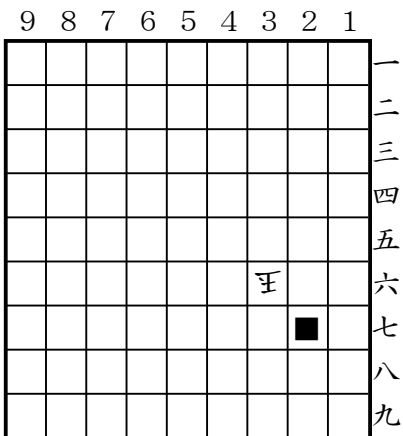
持駒 n角

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 111-5 神無太郎氏作

協力詰 7手



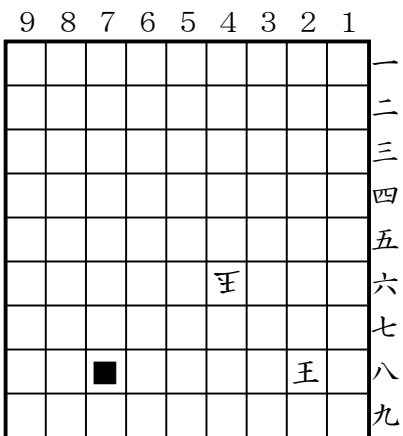
持駒 n香

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 111-6 占魚亭氏作

AntiAndernach協力自玉詰 6手



持駒 飛

※■:Imitator



■ 111-7 占魚亭氏作

協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
						王			六
									七
		■							八
								王	九

持駒 飛

※■:Imitator

■ 111-8 占魚亭氏作

協力自玉スタイルメイト 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
						王			六
									七
		■							八
								王	九

持駒 飛

※■:Imitator



■ 111-9 一乗谷酔象氏作

推理将棋『平成の逆王手定跡』

博士「新定跡の研究は進んでいるかな。たまには一局やるか」

助手「はい。私の先手番でお願いします」

…31 手目先手着手の後、32 手目後手の手番で…

博士「初王手。目の薬」

助手「目には目を。王手には王手を」

博士「王手！」

助手「王手！！」

…60 手目後手の手番で…

博士「王手!!!!!!!!!!!!!!」

助手「あ。詰みですね。負けました。感想戦をお願いします」

博士「この将棋、先手は4連続で歩の手を指し、後手は5連続で玉の手を指したな」

助手「同種の駒の利きへの着手が10回あり、「同」の付く着手が17回ありました。そして、銀の手より後に金の手はありませんでした」

博士「31手目まで王手がなかったが、次の手から新しい展開になった。29回も王手が続いて、28連続逆王手とは驚いたよ」

助手「不成の手が20回、両王手が1回、3筋の手が9回でした」

博士「まさに2019年、平成31年に相応しい対局。平成の逆王手定跡の誕生だ」

[条件]

- ① 60手目に29回目の王手で詰んだ
- ② 31手目まで王手はなかった  
(32手目が初王手)
- ③ 不成の手が20回
- ④ 両王手が1回
- ⑤ 3筋の着手が9回
- ⑥ 先手は4連続で歩の手を指した
- ⑦ 後手は5連続で玉の手を指した
- ⑧ 同種駒の利きへの着手が10回
- ⑨ "同"の付く手が17回
- ⑩ 銀の手より後に金の手はなかった

■ 111-10 Pontamon 氏作

推理将棋

「駒打ちすることなく 19 手で詰んだよ」  
 「どんな対局だったの？」  
 「ふたつの駒それぞれを連続で同じ回数動かす手が先後ともにあって、連続回数は先手は 3 回で後手は 4 回だった」  
 「先後で着手は似てるけど、先後のふたつの駒の駒種が同じってことじゃないんだ。あとは？」  
 「18 手目は空き王手だよ」  
 「4 回連続だとか空き王手だとか、いつも代わり映えしない対局だな…。ん？18 手目?!」

[条件]

- 1) 駒打ちなく 19 手で詰み
- 2) 先手はふたつの駒をそれぞれ 3 回連続で動かした
- 3) 後手はふたつの駒をそれぞれ 4 回連続で動かした
- 4) 18 手目は空き王手

■ 111-11 Pontamon 氏作

推理将棋

「11 手目に成香の手で詰めたってね。珍しい駒で詰めたもんだ」  
 「その成香は、連続する 3 つの段への香着手で成った駒だよ」  
 「連続する 3 つの段というと、1、2、3 段とか 2、3、4 段とか 3、4、5 段とかだね。連続しているのは 3 つの段のことだから、それら 3 つの段への香の着手順は関係ないし、何回目の香着手で成ってもいいんだね」  
 「もちろん最終手の成香の着手は、香の着手ではないよ」

[条件]

- 1) 11 手で詰み
- 2) 最終手の成香は、連続する 3 つの段への香着手で成った駒

■ 111-12 たくぼん氏作

協力自玉詰 90 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
					科			●	二
				●	●	角			三
				●		●	王		四
				●	王				五
			●	●		桂			六
			●	飛	●				七
			●	●	●	●	●		八
									九

攻方持駒 なし  
 受方持駒 なし  
 ※●:石 (着手不可、不透過)

■ 111-13 たくぼん氏作

協力自玉詰 56 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
	銀	銀			銀	銀			五
香	歩	桂	桂	桂	歩	香	金		六
歩	王			歩			歩		七
飛							香		八
		王				桂	香	金	九

攻方持駒 なし  
 受方持駒 なし

■ 111-14 変寝夢氏作

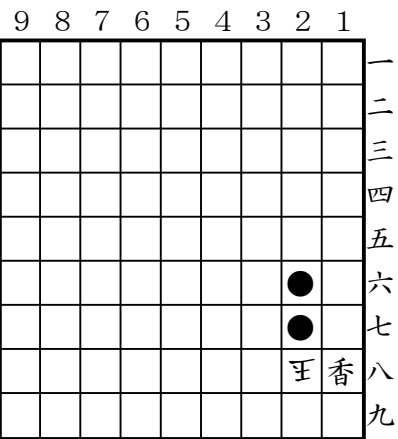
All-in-Shogi協力詰 7 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						王			三
									四
									五
							金		六
							銀		七
									八
									九

持駒 なし

■ 111-15 変寝夢氏作

All-in-Shogi協力詰 11手

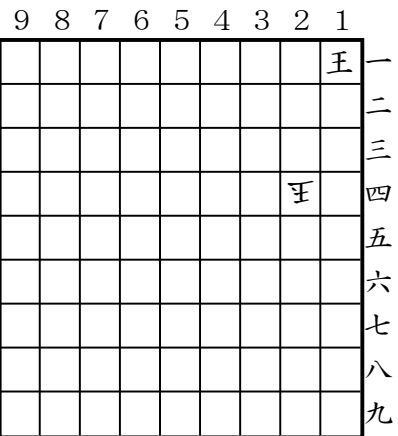


持駒 香

※●:石 (着手不可、不透過)

■ 111-16 尾形充氏作

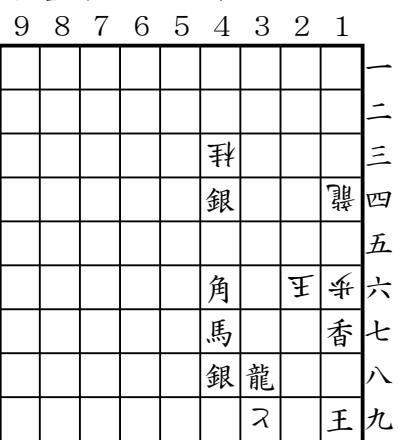
PWC協力自玉スタイルメイト 6手



持駒 飛

■ 111-17 尾形充氏作

最善自玉詰 24手

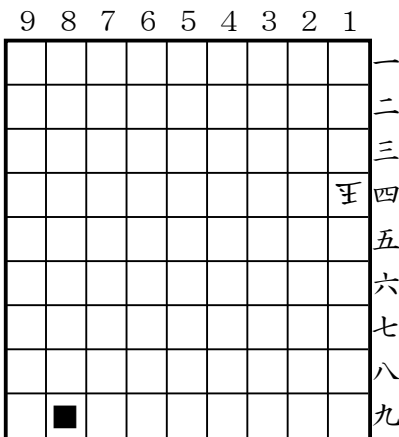


持駒 金

<第 112 回>解答締切:2019年 8月 15日(木)

■ 112-1 神無太郎氏作

協力詰 5手



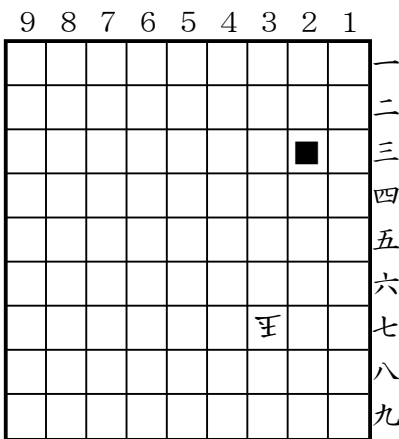
持駒 n香

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 112-2 神無太郎氏作

協力詰 7手



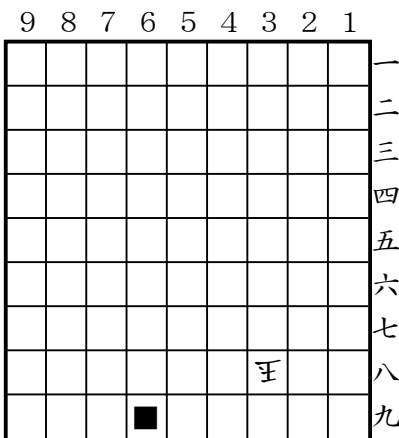
持駒 n香

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

■ 112-3 神無太郎氏作

協力詰 7手

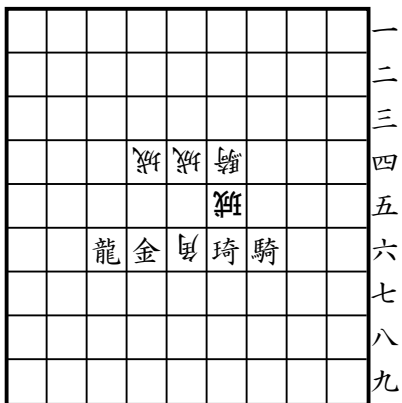


持駒 n角n金

※■:Imitator

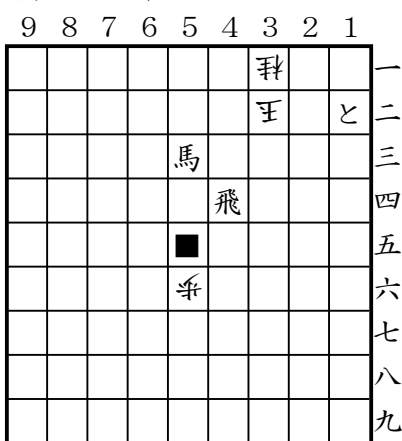
玉以外はすべて中立駒

- 112-4 神無太郎氏作  
協力自玉スタイルメイト 10手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1



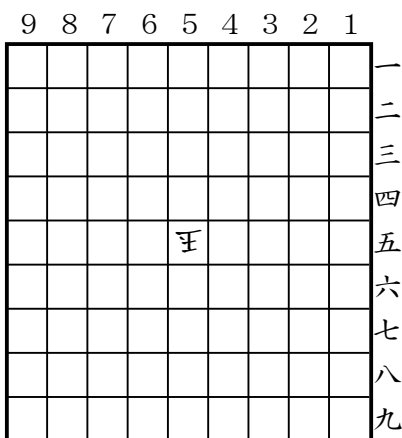
攻方持駒 なし  
受方持駒 残り全部+騎2城2  
※琦:Knight王  
騎:Knight  
城:Rook-Grasshopper王  
城:Rook-Grasshopper

- 112-5 占魚亭氏作  
協力詰 3手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし  
※■:Imitator

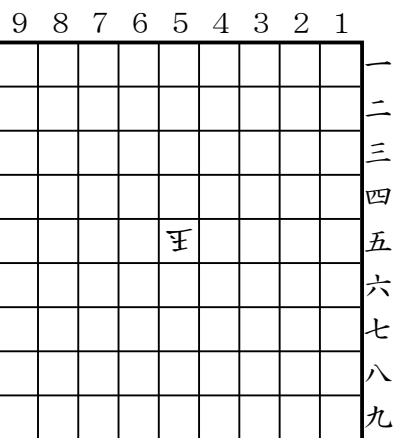
- 112-6 占魚亭氏作  
点鏡協力詰 4手 (受先)



持駒 銀桂

- 112-7 占魚亭氏作

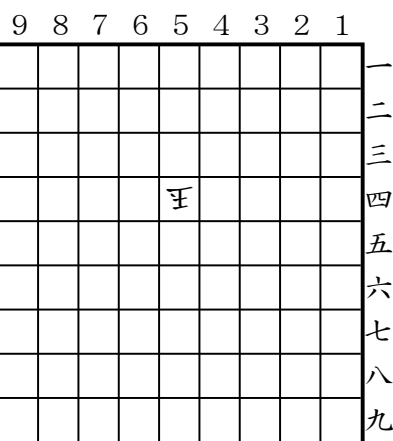
点鏡協力詰 4手 (受先)



持駒 桂歩

- 112-8 占魚亭氏作

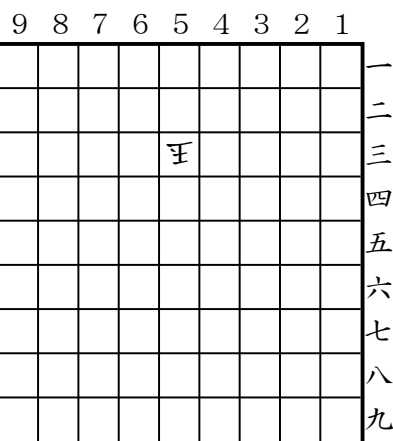
点鏡協力詰 4手 (受先、2解)



持駒 桂香

- 112-9 占魚亭氏作

点鏡協力詰 6手 (受先、2解)

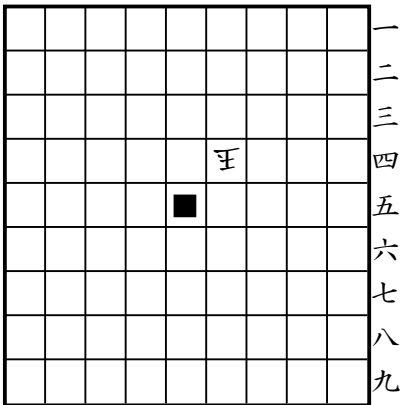


持駒 金

■ 112-10 占魚亭氏作

点鏡協力詰 6手 (受先)

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 銀

※黒:Imitator

■ 112-11 Pontamon 氏作

推理将棋

「盤上から盤上への角移動と馬移動の手が多かったね」

「うん、それぞれ3回ずつだったけど、着手した筋が全て別々で、しかも連続する6つの筋だった」

「11手で詰んだから半数以上が角や馬の移動で、面白いことにそれらの6本の移動軌跡は交差することも部分的に重なることなかったね」※1

「面白いと言えば、自分で動かした駒が居た地点への着手が3回あったけど、すぐ次の手番でそこへ指すことはなかった」※2

[条件]

- 1) 11手で詰み
- 2) 角移動3回と馬移動3回の6手は連続する6つの筋へ1回ずつあり、角と馬の移動軌跡6本は交差も重なりもしなかった ※1
- 3) 自分で動かした駒が居た地点への着手3回は次の手番での着手ではなかった ※2  
(※1及び※2についての詳細は補足説明を参照のこと)

■ 112-12 Pontamon 氏作

推理将棋

「10手目の寄る手に対して寄る手で応じて11手で詰めたよ」

「寄るとか引くとかよく言うけど棋譜には記入されないときもあるよね」

「棋譜と言えはこの対局の棋譜には角左や馬左の文字があるよ」

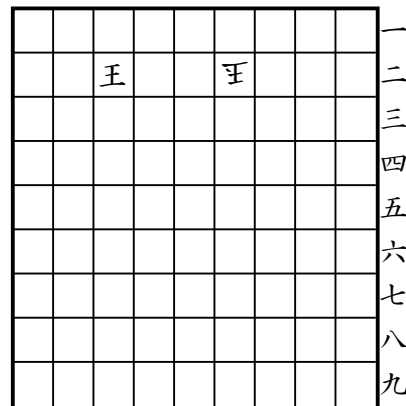
[条件]

- 1) 11手で詰み
- 2) 10手目の寄る手に対して寄る手で応じた
- 3) 棋譜には角左や馬左の文字がある

■ 112-13 変寝夢氏作

点鏡協力自玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

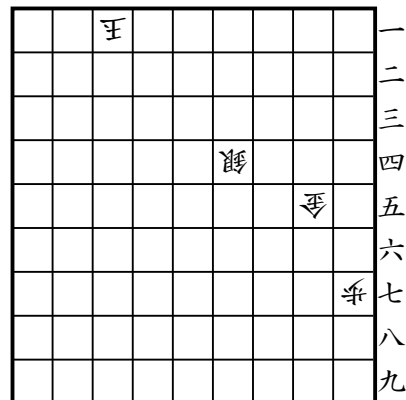


持駒 歩2

■ 112-14 変寝夢氏作

リパブリカン協力自玉詰 14手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 包

受方持駒 なし

※包:Leo (Q利きの包)

■ 112-15 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -20+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
		王							八
金								銀	九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

■ 112-16 変寝夢氏作

ボカスカ協力白玉詰 136手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

王									一
									二
●	●	●	●	●	●	●	●		三
銀	●	●					●		四
		●		●					五
王	●	●		●	●	●	●	●	六
●	●		●				王		七
		飛							八
								王	九

持駒 なし

※94銀は中立駒

●:石 (着手不可、不透過)

■ 112-17 青木裕一氏作

駒余り禁協力詰 31手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
						と	銀	王	五
			角	飛	歩	香		王	六
									七
						王		王	八
				歩		歩			九

攻方持駒 歩2

受方持駒 なし

以上

# Fairy of the Forest #59 出題

- 2019年03月20日：課題発表：(協力詰)  
「自由課題」
- 2019年05月15日：投稿締切
- 2019年05月20日：出題
- 2019年06月15日：解答締切
- 2019年06月20日：結果発表

## ■ 出題

大型連休中に投稿を、という安易な目論見は外れ、相変わらずの少数出題。やはり創作どころではなかったということでしょうか。

たくぼん氏から短・中編1題ずつ、他作者から長編1題で計3題という構成は前回と同じですが、七郎氏作はやや手数が長く解きごたえがあると思います(受方持駒制限にご注意を)。

1題でも解けた方は、ぜひご解答をお願いします。

(解答先)  
→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

## ■ 59-01 たくぼん 協力詰 5手

										一
										二
										三
										四
										五
			ス							六
				王	ス		ス			七
	飛									八
			角		角					九

持駒 金銀2

## ■ 59-02 たくぼん 協力詰 49手

										一
										二
										三
飛									飛	四
角	銀	銀	銀	銀	金	金	金	金		五
歩	香	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		六
王	卒									七
	ス	ス	角	ス		卒	卒			八
ス					ス					九

持駒 桂4歩

## ■ 59-03 神無七郎 協力詰 143手

受方の持駒：なし

										一
										二
										三
					銀	卒	金	銀		四
			歩	桂	桂	香	香	歩		五
				ス	王			と		六
			香	桂						七
			金	歩			玉	角		八
				ス		香	桂			九

持駒 歩5



## 祝改元（令和）記念作品展

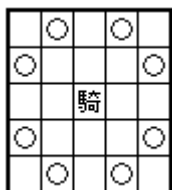
5月1日より新元号「令和」となりました。それを記念して、「祝改元（令和）記念作品展」を開催します。エントリーは私を含めて3名で各作者が2題ずつとなりました。バラエティに富んだ作品で、解答期間も2ヶ月にしましたので皆さんの解答よろしくお願い致します。

解答締切：令和元年7月15日（日）

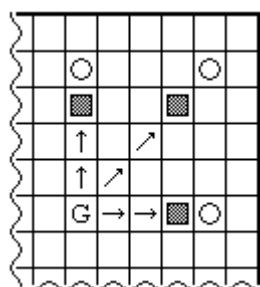
解答送り先：たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)

### 【ルール説明】

騎 (Knight)：八方桂の利き



G (グラスホッパー)：Qの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



### 【点鏡】

55 に関して点对称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

- ・行き所のない駒の禁則は適用されない

### 【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト（王手は掛かっていないが合法手のない状態）にする。

### 【Zero】（零）

(0,0)-leaper。現在位置に移動する。行き所のない駒にはならない。

### 【中立駒】

どちらの手番でも動かせる駒。

[補足]

横向きの字か横に n を付加して表記。取り方や動かし方は以下の細則に従う

1)中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる（利きが非対称な駒の場合に要注意）

2)中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる

3)中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。

4)中立駒は現手番側の駒を取れない。

相手側の駒や、中立駒は取れる。

5)二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。

6)中立駒は行き所ない駒にならない。

7)中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

### 【安南】

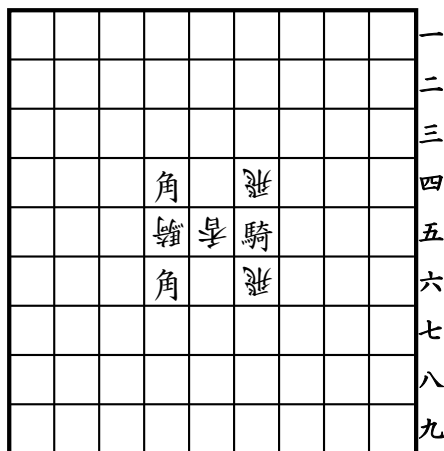
味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【強欲】駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

### ① 神無太郎作

詰将棋1手（※65玉は騎王）

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒なし

### 【作者コメント】

平成(H)から令和(R)へは必然の跳躍の1手



② 神無太郎作

点鏡協力自玉スタイルメイト 8手  
持駒 飛2角2金4銀4桂4香4歩17G3

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						王			四
									五
				王					六
									七
									八
									九

持駒 歩G

【作者コメント】

Gで飛躍の時代を祈念

③ 神無七郎作

協力詰 19手  
持駒 零5

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				零					一
			王						二
	零		飛						三
				王	零				四
				零	零				五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【作者コメント】

令和にちなんで「零」を使った作品です。19手詰なので 2019 年の改元にも合うと思います。5月改元なので受方持駒や盤上の零が5枚……というのはこじつけで、余詰防止が本筋の目的です。

④ 神無七郎作

協力自玉スタイルメイト 42手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		と	と						一
		と	と						二
		と	と						三
		と	と						四
		と	と		銀	銀			五
		と	と		と				六
		と	と	王	歩				七
		歩	歩						八
				王					九

持駒 n飛

【作者コメント】

そう見えないかもしれませんが、これも「19」と「5」に関連しています。

⑤ たくぼん作

強欲協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			銀	皇					三
			歩		銀				四
			香	歩					五
			王		銀				六
			零		飛				七
									八
									九

持駒 なし

【作者コメント】

まあお約束の強欲協力詰です。短手数ですのでお気楽に解いてください。

⑥ たくぼん作

安南詰 67手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	ス							歩		一
		と					歩		角	二
香	歩			金		飛				三
金					歩	銀				四
			王	歩	銀					五
桂	桂		歩	銀					桂	六
		歩	銀							七
歩		角								八
									香	九

持駒 飛金2香2歩3

【作者コメント】

改元には余り関係ないのですが、令和になって完成した1号作品。「安南詰全集 小西寛」を紹介したことに佐藤達也さんからお礼のメールをもらい、ちょっと奮起して安南作品を創ってみました。99手の七郎さんの作品には及びませんが楽しめると思いますので是非解いてみて下さい。

# 第110回WFP作品展結果

担当：神無七郎

第 110 回 WFP 作品展の結果を報告します。  
 今回の出題は全 11 題。セット出題の作品を含むので実質的には 12 題です。  
 解答者数は 7 名。全題正解者なし。解答の内訳は以下の通りでした。

## 〔第 110 回 WFP 作品展成績〕 (敬称略)

○:正解・余詰解 ×:誤解 -:無解

解答者名	1	2	3	4	5	6a	6b	7	8	9	10	11	計
たくぼん	○	-	-	○	○	-	-	○	○	○	○	○	8
変寝夢	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	5
占魚亭	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	4
一乗谷酔象	-	-	-	-	○	○	-	×	-	-	×	○	3
はなさかしろう	-	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	3
Larva	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	1
Pontamon	-	-	-	×	○	×	-	-	-	-	-	-	1

この表から今回の解答者の皆さんの苦戦が伺えますね。特に **110-6(b)** は作者以外の正解者はゼロになりました。

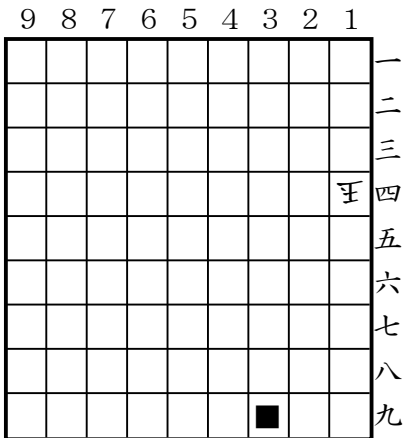
また、今回は初めて外国の方、Larva さんから解答を戴きました。WFP は Web で公開しているので、世界中のどこからでも閲覧できます。とはいえ、外国の方から解答が来るとは予想していなかったもので、驚くと同時に、とても嬉しく思いました。こうして少しずつでも、フェアリー詰将棋の魅力が世界に伝わると良いですね。

作品の方では既報の通り **110-6(a)** で余詰が発生しました。中立駒はまだ作家も慣れていないので、人力検討で余詰を除去するのは、相当難しいようです。



## ■ 110-1 神無太郎氏作 (正解 2 名)

協力詰 5手



持駒 n香2

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

### 【ルール】

#### • 協力詰

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

#### • Imitator (■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

#### • 中立駒 (「區」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

#### (補足)

横向きの字か横に n を付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

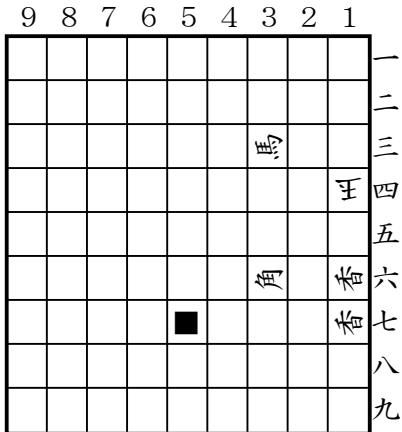
- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる (利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。

- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。  
 7) 中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

【解答】

17n 香 36n 角 16n 香打 15n 角  
 33n 角成[I57] まで 5 手

(詰上り)



持駒 なし

【解説】

中立駒を合駒に使う場合、注意すべきは玉への利きです。本局は n 香の王手に合駒する筋が見えていますが、例えば 15n 歩合はできません。15n 歩は自玉への王手となるからです。

合駒するとすれば前に利かない n 角か n 桂ですが、使い勝手を考えると、n 角合が有力です。これなら「1Xn 香 15n 角 33n 角成」とする手順で詰めることも予想できます。

ただ、単なる開き王手だと簡単に受けられてしまうのは、このシリーズを解き慣れた方なら経験済みでしょう。ただでさえ中立駒は詰めにくいですし、更に盤上には Imitator があって、受けの手段は豊富です。

こんな時に頼りになるのが「両王手」。

冒頭「17n 香 36n 角」が、Imitator を利用して n 香の王手を受けつつ、自玉に睨みを利かし、両王手の舞台を整える好手です。初手 17n 香はもちろん限定。これより遠くに打つと 36n 角が受けになりません。

この 2 手で準備を整えてから、当初の予定通り n 香打、n 角合から開き王手をすれば、Imitator の位置が変わって、36n 角及び 16n 香の両方の利きが有効化され、両王手を実現します。

なお、最終手の 33n 角「成」は 23 玉を防ぐと同時に 15n 角「生」で元の局面に戻す手も防いでいます。中立駒は、All-in-Shogi と違って「直前の局面に戻す手を禁じる」という人工的な規定がないので、このような「逆流防止の成」がよく登場します。ぜひ憶えておきましょう。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

19n 香、34n 飛、18n 香、35n 桂、43n 桂成みたいな筋を考えていました。飛、角は戻れるから詰まないと思っていました。

たくぼんさん

両王手を頭に入れて 2 手目 36n 角にキメ打ち。このあたりが解ける限界かもしれない。

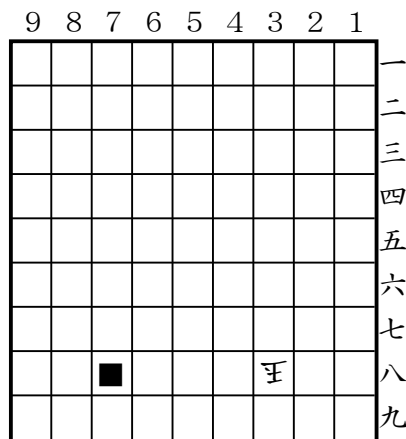
☆今までのシリーズ作が頭にあれば、両王手にヤマを張るのは最有力の解法ですね。ただ、次の作品は同じ考え方では解けません。

占魚亭さん

素直な手順できれいな両王手。

■ 110-2 神無太郎氏作 (正解 1 名!)

協力詰 9 手



持駒 n 香2

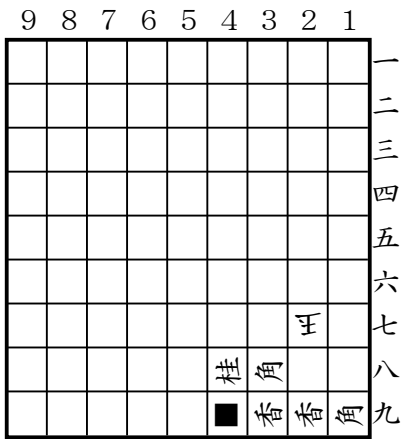
※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

【解答】

39n 香 27 玉[I67] 29n 香 28n 角  
 19n 角[I58] 28n 角打 19n 角[I49] 48n 桂  
 38n 角 まで 9 手

(詰上り)



持駒 なし

【解説】

本局は単品ではなくシリーズの中の一局として見た場合、最大の難関です。というのも、本局は「両王手」で詰める作品ではないのです。今まで散々両王手の作品を見せられた後だけに、これは予想外だったと思います。

両王手でないならどうやって中立駒で詰めるのでしょうか？

それは詰上り図を先に見て貰った方が分かりやすいでしょう。

この詰上りで王手を掛けているのは38n角です。一見すると、この38n角を動かす受けがありそうですが、左辺にn角を動かす手は29n香の利きが復活して王手になるので指せません。つまり「ピン止めされた中立駒を打つ」という手筋を使っているわけです。

「ピン止め」というと、大駒と玉の間に駒を打つ手を思い浮かべますが、Imitatorを利用して、駒を動かした時に無効化されていた王手が復活する構図を作ることによって「ピン止め」と同じ効果を得られるのです。

最終手までの6手は最終手に向けたn角の入手と包囲網の形成に費やされます。どちらかと言えば囲うのは玉ではなくImitator。Imitatorを囲うことで玉も動かせなくするので。

中立角の入手方法はなかなか面白く、中立角2枚を共に28地点に合駒し、それを共に19地点に動かすことで持駒にしています。「中立駒は中立駒を取れる」というルール設定を活かした持駒の入手法で、4手目から7手目までの一連の手順は趣向的な味わいがありますし、7手目19n角では28n角が突然消えて駒台に移動した

ように見えますね。

8手目48n桂は36に利かす意味の限定合。本局では角2枚と桂を発生させたわけですが、それらはすべて詰上りに関与しています。持駒のn香よりも、新たに発生する3枚の駒の方が主役なので、初形からこの詰上りを想定するのは困難だったと思います。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

この手の詰め上がり(盤面駒沢山)だとは予想が付きましたが、最後の3手は単品で出されても解けないかも。

たくぼんさん (※無解)

39n香 27玉 29n香 28n角・・・以下詰み形が浮かばない。

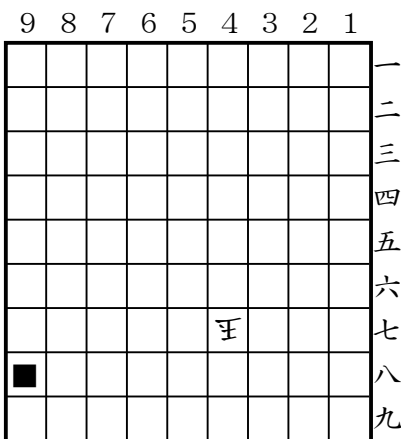
占魚亭さん

2度の28n角・19n角が見事です。

☆正解者ゼロも危惧された本局ですが、占魚亭氏が見事正解。氏は次局にも正解を入れており、Imitator愛好家の面目躍如たる活躍です。

■ 110-3 神無太郎氏作 (正解1名!)

協力詰 9手



持駒 n香

※■:Imitator

玉以外はすべて中立駒

【解答】

49n香 48n角 37n角[I87] 86n飛  
87n飛[I88] 68n飛 38n飛[I58] 56n角  
73n角成[I94] まで 9手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
		馬							三
■									四
									五
				角					六
	飛				玉				七
							飛		八
					香				九

持駒 なし

【解説】

本局はシリーズ最難問。盤上に大駒をすべて登場させ、飛角香の三種の走り駒による三重王手で詰上げる作品です。

本局の詰上りでは、どの1枚も欠けてはいけません。56n角と38n飛は玉の3筋への脱出を抑えていますし、87n飛がないと23n角[161]、73n馬がないと46n玉[193]、49n香がないと48玉[195]のような受けがあります。

作意はすべてこの三重王手に向けて着々と駒を増やす手順です。まずはn香による王手でn角を発生させ、すぐに開き王手で37に移動します。この位置はもちろん限定で、後の6手目にn飛を発生させたとき、Imitatorの壁として役立ちます。

開き王手でn香の利きが有効になったので、4手目にImitatorの壁としてn飛を配置。このn飛による王手でもう1枚のn飛を発生させます。7手目にこのn飛を動かしてn香の利きを復活させ、n角を配置。このとき、n飛を3筋に移動することで、詰上りで玉の3筋への逃走を防ぎます。最終手は、最初に合駒で発生させたn角を成ってImitatorを動かし、49n香・56n角・87n飛の潜在的王手を一気に顕在化します。同時にImitatorを盤の左端に押し付けて、玉の5筋への逃走を防いでいます。この最終手が「成」でないといけないのは110-1と同様の理由です。不成だと47n角生で元の局面に戻されてしまうわけです。

本局では盤上に大駒すべて、つまり4枚も駒が登場します。今回の神無太郎氏の3作を見ると、盤上に発生する受方の駒が2枚→3枚→4

枚と順に増えています。もしかしたら、これが今回この3作を作者が選んだ理由なのかもしれません。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

予想外に拡散された最終図。86飛から87飛が巧い手。この最後の3手は・・・、解ける気がしないなあ。

たくぼんさん (※無解)

手が広すぎる。

占魚亭さん

三重王手への巧妙な組立て。難解でした。

☆この作品は難解だと思っていたのですが、占魚亭氏が本局の壁も突破しました。流石としか言いようがありません。

■ 110-4 占魚亭氏作 (正解3名)

点鏡協力詰4手 (※受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
								玉	五
									六
									七
									八
									九

持駒 角銀

【ルール】

• 点鏡

55に関して点対称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

• 行き所のない駒の禁則は適用されない

• 受先

受方から指し始める。

【解答】

94飛 26角 84飛打 16銀 まで4手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
飛	飛								四
								王	五
							角	銀	六
									七
									八
									九

持駒 なし

### 【作者のコメント】

受方の連続飛打ちに面白味を感じていただければ。

### 【解説】

まず詰上りを先に考えましょう。盤上に攻方駒2枚を加えて、詰型を作るのです。持駒が角銀であることは一旦忘れて構いません。点鏡は性能変化ルールなので、後から辻褃を合わせれば良いのです。

例えば「25 銀・16 金」を加える詰型を想定したとしましょう。すると、段を少しずらして「93 金、26 銀、16 玉、17 角」とする筋が浮かぶと思います。これは最後に 93 金を逃がす逃れがあるので詰んでいませんね。

では「25 金・26 飛」を加える詰型はどうでしょうか？ これは「85 金、26 角、84 飛、25 銀」で実現できますが、これも最後に 85 金を逃がすと詰んでいません。

性能変化の元となる駒に逃げられても王手を維持できる詰型は何か？ そう考えると「16 飛・26 飛」を加える詰型が想定できます。このとき手順は「94 飛、26 角、84 飛打、16 銀」となりますが、今度は銀と飛に「直前に利く」という共通性があるため、例え 94 飛を逃がしても王手が維持できるのです。

同じようでも「14 飛・24 飛」の詰型を想定すると失敗です。この時の手順は「96 飛、24 角、86 飛打、14 銀」になりますが、96 飛を逃がせば王手は消えてしまいます。

通常、性能変化ルールでは玉を弱い駒に変身させる戦略が有効ですが、逆に攻方を詰めるの

に都合の良い駒に変身させる戦略も有効です。ただしこの場合、最終手の「王手の維持」に気をつける必要があるのです。

念のため、玉を弱い駒に変身させる戦略が失敗する例も見ておきましょう。安南ルールでよくあるように、桂に変身させた玉を銀で捕らえる方針で考えると「85 桂、26 角、25 玉、84 銀」という手順が浮かぶと思います。

しかし、これは最終手に「同桂」とされ、王手を消されてしまいます。点鏡の性能変化は双方向的であり、玉を他の駒に変身させると、その駒も玉になることを忘れてはいけません。

### 【短評】

#### 変寝夢さん (※無解)

96 香、24 角、14 玉、15 銀とか 95 金、24 銀、14 玉、15 角とか、読んでしまいました。二枚飛車の威力は大きいですね。

☆前者は最終手に対し 95 桂など王手駒を無効化する受けがありますし、後者は角になった 95 金を逃がす受けがありますね。

「王手の維持」は性能変化ルールでは特に重要な概念です。

#### たくぼんさん

裸玉でこんな面白い手順はそうそうないですね。

#### Larva さん

お世話になります、私はラルバです。

My name is Larva (pseudonym).

外国人ですので、初めて日本語のメールを書くです。日本語を壊れたら、あるいは礼儀を欠いたら、私を許してください。私の日本語が理解できない場合に備えて、英訳を付けました。

Since I'm a foreigner that's writing an email in Japanese for the first time, please excuse me for any broken Japanese or breach of etiquette. I have attached English translations in case my Japanese is not understandable.

数日前、私は WFP を見つけ、それを本当に楽しみました。数多い問題と解答見た、私は新しい問題に目を向けました、110-4 を解答しましたと思います。手順は：

A few days ago I discovered WFP, and I enjoyed it very much. After going over many problems with published solutions, I turned to the new problems, and I think I just solved 110-4. My solution is:

9 四飛 2 六角 8 四飛打 1 六銀 まで最初の考えは玉を弱めることでしたが、その方針は「8 五桂 2 六角 2 五玉 8 四銀」しかできない、けど玉方は「同桂」の応手を残りました。流石は 109-5 と同じ、近接王手の場合その戦略はうまくいきません。でも、1 筋真ん中にある玉を「角+X」や「銀+X」で詰めることはにくいですが、さらに、その詰め上がり姿に「X」の性能復元もいいは無理です。だから解答手順はすべて打ち手です。飛車二枚で詰めるのは易いですが、もちろん、「飛」の性能復元も王手を掛けなければならないので、結局手順はすべて限定します。

The first thought was to weaken the king, but that gave only "8 五桂 2 六角 2 五玉 8 四銀", where the defender still has the response "同桂". Similar to 109-5, this plan wouldn't work with a short-range piece giving check. But it's hard to checkmate the king in the middle of the 1-file with the bishop or the silver plus another piece, and none of those checkmate positions work when the "other piece" can revert. Therefore the solution consists of four drops, and it's obviously easy to checkmate with two rooks. Of course, since the checkmating rook must still give check when it reverts, in the end everything is unique.

☆本誌初の外国人解答者 Larva さんの登場です。解答メールに日本語と英語が併記されていたので、全文収録しました。短評を読むと、初手 85 桂の紛れが成立しないことを読み切った上で、論理的に正解に到

達していることが分かります。WFP 誌の出題作を解くのは大変ですが、それ以前に特殊な専門用語を理解するだけでも相当大変です。きっと解図力だけでなく、かなりの知的好奇心も持った方なのでしょう。これからも引き続き WFP を愛読して下さるようお願いしたいと思います。

### **Pontamon** さん（※誤解）

△85 桂、▲26 角、△25 玉、▲84 銀  
駒の性能変化のさせ方は違うだけなので、安南作品を点鏡で作り直せるものがありそう。

☆Pontamon 氏は初手 85 桂の紛れに嵌ってしまいました。解説でも触れましたが、この手順では最終手に対し同桂で逃れです。



### ■ 110-5 Pontamon 氏作（正解 3 名）

#### 推理将棋

「昨日の対局は、駒成なく 11 手目の歩の手で詰めたよ」  
「最終手は歩だと聞いたから歩成したと思ってた」  
「成る手が無かったから 8 手目までに不成が 3 回もあったよ」  
「あと、棋譜表記が同じ着手があったらしいね」

#### [条件]

- 1) 11 手目の歩の着手で詰んだ
- 2) 駒成は無く 8 手目までに不成が 3 回
- 3) 棋譜表記が同じ着手があった

#### 【ルール】

#### • 推理将棋

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。



【解答】

76 歩 42 玉 33 角生 32 玉 22 角生 24 歩  
33 角生 23 玉 78 角 12 玉 66 歩 まで 11 手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	駒	香		香	駒	科	皇	一
二		歩							玉	二
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	角		歩	三
四								歩		四
五										五
六			歩	歩						六
七	歩	歩			歩	歩	歩	歩	歩	七
八			角					飛		八
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

【作者のコメント】

素材は 10 手の合い駒なしでの詰み手順

- ▲68 玉、△34 歩、▲78 玉、△77 角不成、
- ▲86 歩、△88 角不成、▲87 玉、△77 角不成、
- ▲98 玉、△76 角

この手順では最終手は 3 箇所ありますが、角を自駒の陰に控えて打てば空き王手作品に早変わり。(打てる場所も一ヶ所だし)

11 手詰めだと先後が変わって、3 回目の不成は 7 手目ですが 8 手目まで広げても余詰み手順は出てきません。後手番の 8 手目まで広げた条件だと不成 3 回には後手の不成着手も含まれる可能性がありそうで少しは難しくなるのかも。

72 玉を 18 角と打ってからの 26 歩の空き王手手順があり、余詰を消せる気の利いた条件がなくて「棋譜表記が同じ着手」が必要になりました。

【解説】

本作の主役は角。条件に「角」を示唆する言葉はなく、表面に出ているのは「歩」の方ですが、間違いなく主役は角です。

条件 2) で不成が 3 回もあったことが示されています。これが別々の駒によるものである可能性も考えられますが、条件 3) の「棋譜表記が同じ」を満たそうとすると、同じ駒で不成を行った可能性が俄然高くなります。

となれば、相手陣に素早く飛び込める角が、

そのまま 3 回の不成を行ったと考えるのが自然でしょう。

問題は最終手「歩の着手」の条件です。

「成」はなかったそうですし、打歩詰のはずはないですから、可能性は突歩詰か開き王手。ここで 78 角の妙手が登場します。これはいわゆる「遠見の角」ですが、打った時点で直接利かすのではなく、開き王手で初めてこの角が働きます。いわば「時間差攻撃的遠見の角」です。

ちなみに棋譜表記が同じ着手は「33 角生」。一つは 88 から移動する手。もう一つは 22 から移動する手なので、着手としては別なのですが、棋譜表記上は同じになります。行き先しか書かない将棋の棋譜表記の特徴が表れた現象ですね。

【短評】

たくぼんさん

この詰上がりは昔よく考えたのですがすぐ分かりました。角生の間を通り過ぎて行く玉が気持ちよい。

Pontamon さん

ちょっとずるい表現の「8 手目までに」に解答者は惑わされたかも。

一乗谷酔象さん

11 手なら筋違い角で詰む手順。  
玉位置はどの奇数筋か。

☆本作の 9 手目 78 角は解答者にとって盲点になるかと思っていたのですが、どうやら推理将棋に慣れた解答者にとっては常識の範囲内だったようです。条件の付け方はいろいろ工夫できても、手順そのもので新味を出すのは難しい時代になったのかもしれない。





■ 110-6 はなさかしろう氏作  
 (正解(a) 2名 ※余詰、(b) 1名 ※実質正解者なし)

推理将棋×中立駒 全着手駒取り

(a)、(b)それぞれについて、中立駒にした駒と詰みまでの手順を推理してください。

- (a)
- ・初形配置のうち 4 枚を中立駒にした合法局面から 6 手で詰んだ
  - ・6 枚の駒が取られた
  - ・不成なし

- (b)
- ・初形配置のうち 4 枚を中立駒にした合法局面から 12 手で詰んだ
  - ・飛角金銀桂香歩を含む 12 枚の駒が取られた
  - ・成なし

※本問では「中立」は駒種のご概念とは無関係とします。つまり例えば、中立角も通常の角も、駒種は同じ「角」として扱います。

【解答】

(a)  
 中立駒：51 玉、71 銀、81 桂、88 角  
 (初形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
	飛						角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	飛						飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

61n 玉 97n 角成 53n 馬 81 飛  
 93 香成 71 飛 まで 6 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
							角		二
杏	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 金歩2

(b)

中立駒：22 角、28 飛、51 玉、99 香  
 (初形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
	飛						角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

41n 玉 27n 飛生 23n 飛生 22 飛  
 33n 飛生 37n 飛生 99 角 39n 飛生  
 同金 29 飛生 31n 玉 39 飛生 まで 12 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	一
									二
歩	歩	歩	歩	歩	歩			歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩			歩	七
									八
角	桂	銀	金	玉	飛			香	九

持駒 金銀歩2 n飛 n香

【作者のコメント及び解説】（※投稿時）

本作の表テーマは「p手で詰み／駒取り p回」、つまり全着手駒取りです。

全着手駒取りで初形配置から詰みに至ることは、通常ルールではもちろん不可能ですが、中立駒を導入すれば簡単に実現できそうに思われます。しかし、初形配置で駒がいる地点にしか着手できない、という制約が自動的に付属してくることなどの制約があり、意外に詰みにくいようです。

まず、全着手駒取り以外の条件を課さず、通常玉を詰ます手順を考えてみます。

**例 1) 8手／中立駒 6枚**

中立駒：28 飛、49 金、69 金、79 銀、82 飛、89 桂

手順：69 玉、39n 金、79 玉、29n 金、83n 飛生、87n 飛生、89 玉、88n 飛寄成まで

**例 2) 10手／中立駒 4枚**

中立駒：22 角、49 金、82 飛、88 角

手順：49 玉、77n 角生、13n 角生、57n 角成、81n 飛成、17 香成、91n 龍、28 成香、93n 龍、39 成香まで

通常玉は周囲を味方の駒で囲まれているため、短手数で詰ますには中立駒による王手で仕留める必要があるのですが、詰み形を作るのが容易ではありません。例 1 は同軸の走り駒でピンされている中立龍を使った詰みですが、8 手を要します。例 2 は敵陣の通常駒を使った詰みですが、10 手を要します。

そこで中立玉を使ってみるのですが、6 手の詰みが可能なことがわかります。

**例 3) 6手／中立駒 4枚**

中立駒：51 玉、71 銀、81 桂、88 角

手順：61n 玉、97n 角成、53n 馬、81 飛、93 香成、71 飛まで

これが(a)の作意解。付帯条件の「不成なし」で 2 手目と 5 手目の成生を限定しています。5 手目は待ち手ですが、ちょうど良く香先の歩が消えているので中立駒を増やすことなく駒取りを続けることができおり、手順が一意に決まります。以下、(a)を再掲します。

**(a)**

- ・初形配置のうち 4 枚を中立駒にした合法局面から 6 手で詰んだ
- ・6 枚の駒が取られた
- ・不成なし

作意解

中立駒：51 玉、71 銀、81 桂、88 角

手順：61n 玉、97n 角成、53n 馬、81 飛、93 香成、71 飛まで

次に(b)、付帯条件に「不成なし」を導入した場合を考えてみます。

例 3 の形をそのまま使うと 7 手目は同 n 角と飛を取ってしまうので、n 角を通常の後手角に変更してみたのが例 3-2 です。

**例 3-2) 10手／中立駒 7枚**

中立駒：19 香、28 飛、31 銀、51 玉、71 銀、81 桂、88 角

手順：61n 玉、97n 角生、53n 角生、31 角、28 銀、53 角、19 銀、81 飛、93 香生、71 飛まで

この手順では飛角金銀桂香歩の 7 種を取れてもいますが、中立駒を 7 枚導入しなければならず、(b)には当てはまりません。

また、通常玉を詰ます方法の場合、例 2 は成が必須のため適用できず、例 1 の形は 2 手延長した例 1-2 で詰むものの、やはり中立駒を 7 枚使用しなければならなくなります。

**例 1-2) 10手／中立駒 7枚**

中立駒：22 角、28 飛、49 金、69 金、79 銀、82 飛、89 桂

手順：69 玉、39n 金、79 玉、29n 金、83n 飛生、87n 飛生、13n 角生、57n 角生、89 玉、88n 飛寄成まで

このように、不成なしの場合、玉を包囲するために大量の中立駒を消費してしまいます。そこで、二玉詰で打ち取ることを考えます。

駒打ちがないので角で詰ますのは困難。ということで、飛を使います。中立玉を導入すると、初手は必ず中立玉がどちらかの金を取るの通常玉を動かすことが難しくなりますが、31n 玉

—39 飛—59 玉のように L 字型の両端に玉、折れ曲がりの位置に飛が来るようにすれば詰み形を作れます。また、中立玉を詰ますので、最後の王手は中立飛を使うことはできず、初形で 82 にいる後手の通常飛を先手陣に送り込む必要があります。短手数でこれを実現するには、22 から 29 を経由するのが良さそう。障害となる 23 の歩は先手の飛を中立駒にして取り払ってやれば良いことになります。

ということで、

中立駒：22 角、28 飛、51 玉、\*\*\*  
手順：41n 玉、27n 飛生、23n 飛生、22 飛(寄)、  
33n 飛生、37n 飛生

と、3 筋の歩を取り払っていくのが効率の良い手順。ここで先手は手に詰まってしましますが、\*\*\*と何か指すとして、その後、39n 飛生、同金、29 飛生、31n 玉、39 飛生、とすれば、12 手で詰みそうです。

ここで取った駒を見ると、金、歩、歩、角、歩、歩、\*、銀、飛、桂、銀、金で、\*が香ならば、もうひとつの付帯条件である 7 種の駒取りを実現できます。そこで、もう一枚の中立駒を 99 香にすれば、7 手目に 99 角で香取りを実現できます(なお、7 手目は先手番なので、88n 角で 99 香を取る手は指せません)。

改めて(b)を再掲します。

### (b)

- ・初形配置のうち 4 枚を中立駒にした合法局面から 12 手で詰んだ
- ・飛角金銀桂香歩を含む 12 枚の駒が取られた
- ・成なし

### 作意解

中立駒：22 角、28 飛、51 玉、99 香  
手順：41n 玉、27n 飛生、23n 飛生、22 飛(寄)、  
33n 飛生、37n 飛生、99 角、39n 飛生、  
同金、29 飛生、31n 玉、39 飛生まで

結構いろいろ考えたわりにシンプルで面白みのない手順になってしまいましたが、ただ作るだけでは今ひとつ面白くなかった二玉詰の作例を全着手駒取りで実現できたので、ご海容いただければと思います。回避できなかつた待ち

手も、7 種取りにして、最終図で駒が全て奇数段に並んだことで、なんとか恰好つけた形です。

なお、前回 WFP105-7c で、中立駒に通常の棋譜表記を当てはめ得るか、ということ解説で提起していただきましたが、確かに迷わしいところがあります。本問の 4 手目はその具体例で、表記に「寄」を付ける必要があるかどうか、どちらの解釈もあり得ると思っています。棋譜表記では中立駒には n をつけるので、本問の場合つけなくてもわかりますが、中立駒でも通常駒でも駒種は同じ飛、と考えれば、つける必要があるのかもしれませんが、WFP105-7 の場合は中立駒同士の関係で「寄」「上」が必要だったので、敢えてその議論には触れませんでした。本当は決まっていなくて条件に使うのはよろしくなかったと思います。

今回のペア問題、裏テーマは中立玉でした。最後に補足として、改めて表テーマの「p 手で詰み/駒取り p 回」を考えてみます。

p の最小値は 0、中立駒は 2 枚あれば詰みます。

中立駒：49 金、51 玉 で詰み  
(WFP105-7 の出題時点では気付いていませんでした！)

一方、中立駒の最小必要枚数ですが、1 枚あれば詰みます。

中立駒：22 角  
手順：13n 角成、57n 馬、93n 馬、17 香成、  
83n 馬、27 成香、同飛、47n 馬、  
23 飛成、87 飛成、33 龍、77 龍、  
31 龍、79 龍、22 龍、69 龍まで

この中立馬と玉の腹からの王手の組み合わせは強力なので、成が可能な場合は手数さえ厭わなければ容易に詰ますことができます。

ということで、本問は  $p > 0$  (全着手駒取り) について、(a) p の最小、(b) 成なしで中立駒数が少なく比較的 p の小さい手順を求めると問題です。

【解説】

推理将棋は平手の実戦初形から始めるのが一般的ですが、推理将棋を「条件付協力詰」や「条件付協力自玉詰」とみなせば、平手の実戦初形にこだわる必要はありません。駒落ちから始めても良いですし、安南将棋などの変則将棋の推理将棋があっても一向に構わないはずです。

実際、WFP 第 9 号では橋圭伍氏が「マドラシ」「キルク」「安南打歩」と組み合わせた推理将棋を披露しています（WFP 第 11 号にも続編があります）。

ただ、フェアリーと推理将棋の双方を消化し、思い通りの作品を作ることは簡単なことではありません。過去の作品の多くも余詰に泣いています。

さて、今回はなさかしろう氏が挑んだのは、推理将棋と中立駒の組み合わせ。実戦初形のうち何枚かの駒を中立駒に変更し、指定の条件を満たすようにせよという問題です。

特に注目すべきは中立駒にする候補に「玉」も含まれるということです。玉を中立駒にした場合、二玉詰のルールが適用され、通常とは「詰」の意味すら変わってきます。

はなさかしろう氏は 105-7 で今回と同じルール設定の作品を出題していました。しかしこの時は、玉を中立駒にする選択はあくまで「紛れ」に過ぎず、表には出てきませんでした。

でも今回は違います。両題とも玉を中立駒にするのが作意なのです。今回のルール設定では先手玉を中立駒にすることはできないので、後手玉を中立駒にします。

そして(a)では元からある先手玉ではなく、中立駒にした後手玉を詰めます。普通に考えると、初手は 41n 玉か 61n 玉しかありませんから、後手が駒取りを続けながらその玉を詰めるのは不可能に思えます。

しかし、手段はあるものです。後手陣の他の駒も中立駒にすれば後手陣内で駒取りを続けることが可能です。具体的には 71 銀と 81 桂を中立駒にすれば、この 2 枚を後手の飛で取ることができるといふ寸法です。その飛で詰むよう、初手は 61n 玉で飛の方に近付き、更に自陣からは中立駒化した角を派遣して、最後 71 飛に紐を付けます。71 飛を 53n 馬で取る手は自玉への王手となるので禁手。二玉詰はどちらか一方

の玉が詰めばそれで「詰」なので、これで目的は達成です。本来の自玉が無傷なのに、手番ごとに所属が変わる中立駒の「自玉」を詰めるのは何だか妙な感じですね。

さて、(a)は詰める対象こそ妙でしたが、「詰」自体は通常の「詰」でした。

しかし(b)は「詰」の意味が違います。二玉詰では、どの玉に対しても王手放置は禁手であり、王手を外せなければ詰みとなります。ですから、仮に玉の両取りが掛かり、両取りを同時に外す手段がなければ（たとえ片方の玉が逃げられる場合でも）「詰」となるわけです。

つまり、(b)は後手玉を中立駒にした上で、先後双方が連続駒取りを行いながら、玉の両取りを狙うという方針で詰ますわけです。

問題には更に取り駒の種類が 7 種であることや、「成」がないという条件が付いていますが、基本的には「玉の両取り」という方針に狙いを絞れるかどうか最大関門です。

ただ、既報の通り(a)には余詰がありました。一つは作者自身が発見した以下の手順です。中立駒にする駒は作意と同じで、最終 2 手が少し変わります。

(a)の余詰解、その 1

61n 玉 97n 角成 53n 馬 81 飛  
63n 馬 71n 玉 まで 6 手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	飛	州			香	銀	桂	香	
二								馬		
三	馬	馬	馬	馬		馬	馬	馬	馬	
四										
五										
六										
七		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 金歩2

自ら王手に掛かりに行くような 71n 玉は中立駒ならでの手で、これは盲点になり易いですね。後手の手番では後手の 81 飛はあくまで味

方の駒なのでこれは反則ではないのです。中立玉を使った作品の実例はあまり多くありませんが、**WFP80-8** (変寝夢氏作、協力自玉詰 8 手) 等が参考になると思います。

もう一つの余詰は一乗谷酔象氏の解答です。後手玉を中立駒にするのではなく、普通に先手玉を詰める手段がありました。

**(a)の余詰解、その2**

中立駒：28 飛、39 銀、79 銀、82 飛  
(初形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	季	王	季	將	科	皇	一
	際						皇		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角						際		八
香	桂	鬮	金	玉	金	鬮	桂	香	九

持駒 なし

22n 飛成 29n 飛成 33n 龍 37n 龍  
39n 龍引 49n 龍 まで 6 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金	王	金	銀	科	皇	一
									二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	七
	角								八
香	桂	鬮	金	玉	鬮		鬮	香	九

持駒 角 歩 n 銀

39 銀を中立駒にする配置が「中立駒は中立駒を取れる」というルールを利用した見事な着想。王手を掛けている 49n 龍をどけても、29n 龍の王手が残る形を作ることにより、詰めにくい中立駒で見事に自玉を詰めています。

作者からは以下の修正が提示されています。作意の骨格は変わりませんが、成・不成に関する条件が変わり、それに伴って作意が少し変更されています。

**条件変更** ・不成なし ⇒ ・不成 2 回  
**作意手順** 61n 玉、97n 角生、53n 角成、81 飛、93 香生、71 飛 まで 6 手

また、(b)は手数も長く、条件も厳しいため、作者以外はすべて無解でした。

今回、結果として(a)(b)両題とも作意解答は寄せられず、残念な結果になりました。(b)は今回の解答を見て、感想だけでも送っていただければ幸いです。

**【短評】**

**たくぼんさん** (※無解)

- (a) 39n 銀で 69n 龍 79n 龍の形しか詰型が思いつかないんだけど中立駒 4 枚では辿り着けない。
- (b) こちらも全く浮かばず。

☆たくぼん氏は(a)で 69n 龍 79n 龍型の詰上りを想定。左右を逆にすれば一乗谷酔象氏と同じ解が得られた可能性があるもので、惜しいところでした。

**Pontamon** さん (※(a)誤解、(b)無解)

(a) 中立駒で相手陣の駒を取る手が 2 手あれば中立駒を節約できた。

どれが作意順かわかりませんが、余詰み手順が 8 個ありました。作意順が見えていないのかも。

手順 1

中立駒 22n 角 28n 飛 69n 金 71n 銀  
▲69 玉、△88n 飛成、▲13n 角成、△57n 馬、▲82n 銀成、△79n 龍

手順 2

4 枚目の中立駒 71n 銀の代わりに 82n 飛だと、5 手目が▲83n 飛成

手順 3

または▲81n 飛成が可能。

手順4、5、6

手順1～3の後手陣内の5手目着手3個に対して、先手陣の69n金ではなく49n金の場合では

▲49玉、△29n飛成、▲13n角成、△57n馬、▲82n銀成／▲83n飛成／▲81n飛成、△39n龍

手順7

先手陣内の69n金の時に39n銀なら、5手目は49の金が39の中立駒の銀を取る手が可能。

▲69玉、△88n飛成、▲13n角成、△57n馬、▲39金、△79n龍

手順8

先手陣内が49n金なら79n銀の

中立駒 22n角 28n飛 49n金 79n銀

▲49玉、△29n飛成、▲13n角成、△57n馬、▲79金、△39n龍

これらの8手順を限定するなら、「大駒を取る手が2回あった」とすると手順1に限定され、「駒種が異なる4枚の中立駒」「大駒を取る手はなかった」とすると手順8に限定されると思います。

(b)無解

中立駒の金を取っても金を取ったことにはならないんだろうなあ。と思って、どうにか金を取る手順ができたと思ったら中立駒は3つなので非限定いっぱい。「成なし」の条件だった。

7種の駒取りは簡単だけど、詰み形が見えて来なくて時間切れ。

☆Pontamon氏は(a)へ8種類の手順を解答されましたが、いずれも最終手に中立龍を逃して不詰です。中立駒は、その基本的な性質に慣れるまでは、誤答をしやすいフェアリー駒だと思います。

はなさかしろうさん

(a)余詰を出してしまい、恐縮の至りです。n馬で周囲を制圧して腹飛車の形は短手数で詰みやすいのですが、自駒に中立玉をぶ

つける王手を失念していました。

修正案は、・不成なし → 不成2回 で、作意が若干変わります。

(b)二玉への王手は角の方が簡単にかけられますが、駒のいる地点をたどるのは飛の方が得意。手数は長いですが、この手順を示したくて問題にしました。

一乗谷酔象さん

(a)中立駒は28飛,39銀,79銀,82飛の4枚。22n飛成 29n飛成 33n龍 37n龍 39n龍引 49n龍 まで6手。

(b)無解。

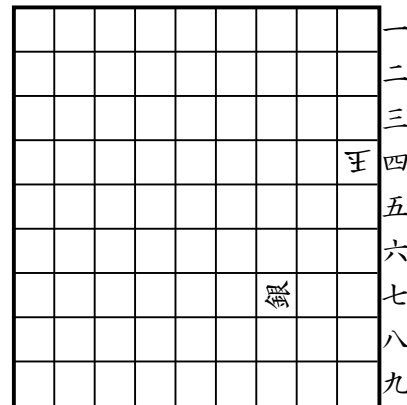
(b)では51を中立駒として玉の両取りを掛ける筋を追ったがn角でn玉に王手を掛けて(禁手)しまい失敗。

☆一乗谷酔象氏は(a)で二玉詰を利用しない余詰手順を解答されました。これは貴重な貢献だったと思います。

(b)は「両取り」の筋を追ったとのことなので、作意に肉薄していたと思います。作意を見た上での感想を送っていただければ幸いです。

■ 110-7 変寝夢氏作 (正解2名 ※実質1名)

リパブリカン協力白玉詰6手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 n香  
受方持駒 なし  
※銀香は共に中立駒

【ルール】

・リパブリカン

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。(補足)

1)双玉等において詰める対象でない玉は通常

の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する

- 2) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。ただし、最終手では玉を置いた後の配置で合法局面かどうかの判定を行う。
- 3) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。自玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

• 協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方玉を詰める。

【解答】

15n 香 25 玉 26n 銀 36 玉  
25n 銀 14n 銀(+16 玉) まで 6 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								銀	四
								桂	五
						王	王		六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

【作者のコメント】

n 香でとどめを刺すが、先手番で n 香が成れないようにしなければならない。

【解説】

初手は持駒の n 香を打つ一手。でも、どこに打てば良いのでしょうか？

後に自玉を発生させて、それを詰ますわけですから、正解の香短打は割と発見しやすいのではないのでしょうか。ただ、問題はその後です。

例えば次の手順を考えましょう。

15n 香 25 玉 26n 銀 36 玉  
**37n 銀 同玉(+17 玉)** まで 6 手？

残念ながらこれは詰んでいません。香が中立駒であるため、最終手に対し「13n 香成」で受ける手があるのです。小駒は成ると金の性能になるので、注意が必要です。

この香成に対する対策が作意の n 銀の巧い運用です。先程の手順と違って銀を 14 に送り込んでいるため、今度は香が成れません。

作意だけ見ると、香を支える駒として銀を送り込んでいるように思えるかもしれませんが、主目的はあくまで香成の防止です。

【短評】

たくぼんさん

初手の短打が盲点でした。  
離して打つ手ばかり読みました (汗)

☆たくぼん氏は作者以外で唯一人、変寝夢氏の今回の 4 題を全部正解しました。お見事です。

一乗谷酔象さん (※誤解)

26 か 36 か、3 手目が鍵。

☆一乗谷酔象氏は「16n 香 25 玉 36n 銀 26 玉 27n 銀 28n 銀成(+19 玉) まで」の解答でした。これは最終手に対し 28 同玉で逃れます。最終手が「18n 銀成(+19 玉)」の誤記である可能性も考えたのですが、その場合でも「17n 全」の逃れがあります。

■ 110-8 変寝夢氏作 (正解 3 名)

All-in-Shogi 協力詰 7 手

								王	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂2





補足に「3)自玉を取らせる手は反則」を追加しました。

通常は王手放置や自玉への王手は禁手なので、王手に対しては玉を逃げるか王手を解除するしかないのですが、All-in-Shogi では相手の駒を動かせるので、玉を除去する可能性も考えておかねばなりません。具体的に説明しましょう。

【参考図】

All-in-Shogi協力詰 3手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
							料	馬	二
						角		桂	三
								王	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩

この図の作意は「34v 桂 22v 歩 21 歩成 まで 3 手」なのですが、自玉を取らせる手を許容すると初手「14v 桂」とすることもできます。

この場合、取った玉は持駒になるのか、なるとしたら以後は二玉詰になるのか…等、いろいろと決めるべき事項が生じます。でも、玉を取らせる手自体を禁止すれば、余計なことを考える必要はありません。

ただ、フェアリーでは簡単なルールが良いとは限りません。All-in-Shogi で玉を取らせる手に関するルール設定に関して、もし別の良い案があればご提案ください。

【短評】

たくぼんさん

詰上り一。魅せますねえ。

はなさかしろうさん

一手前の局面に戻れないルールで禁止できるのは王手をかけている駒を逸らす手と玉を逃がす手の一方のみ。とすると桂は 2 枚とも成る必要がある…というわけで、手数がかかっても理詰めで行けると解き易くて楽しいです。

■ 110-9 変寝夢氏作 (正解 2 名 ※実質 1 名)

All-in-Shogi協力自玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
							飛		四
								王	五
					皇		飛		六
								王	七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

【解答】

24v 玉 56v 飛 27 香 26 飛 56v 飛 26 飛打  
36v 飛左 26v 王 まで 8 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
								王	四
									五
					飛		飛	王	六
								香	七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

【作者のコメント】

趣向とは言えないかもしれませんが・・・

【解説】

所属の総入替え。玉を除いたすべての駒が、攻方の駒は受方に、受方の駒は攻方に寝返る作品です。

作意は趣向味あふれる、流れるような手順。

共に相手の駒を動かす軽い序を経て、27 香 (もちろん限定打) を据えてから飛合・飛移動の繰り返し手順が現れます。2 回目の飛の移動である 36v 飛左もちろん限定。3 手目 27 香

の限定打と同様、詰上りで自玉の退路をなくしています。同じ箇所と同種の駒を合駒し、即座に移動する手順は **110-2** と似た雰囲気ですね。

前局同様、本局も最終手は玉を危険地帯に動かす手です。このとき、王手駒を動かす応手に対する備えが必要です。前局では「動かす場所がない」という手段を使って応手をなくしていました。これに対し、本局では「動いたら別の駒で王手が掛かる」という手段を使っています。

本局の詰上りで王手を掛けているのは **36** 飛ですが、これを王手が外れる位置に動かしても、今度は **56** 飛が利いてきます。この手筋は中立駒を使った **110-6(a)** の余詰順でも出てきましたが、**All-in-Shogi** と中立駒には共通する手筋がいくつもあります。

もちろん、**All-in-Shogi** の詰上りで王手駒を動かす応手に対する対策は、今まで出てきた2つだけではありません。第3の方法が次の作品で登場します。

【短評】

たくぼんさん

最後まで悩んだのがこの作品。**27** 香がいい手でした、**29** 香を中心に読んでました。

☆協力自玉詰では「下段の香に力あり」の格言は通用しませんね。どちらかと言えば「玉の傍の香に力あり」でしょうか。

■ 110-10 変寝夢氏作 (正解2名※実質1名)

All-in-Shogi協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
								金	五
									六
						王	王		七
						香			八
						香			九

持駒 なし

【解答】

16 金 26v 金 27 金 37v 金 28 金 38v 金寄

28 金打 16 玉 27v 玉 まで 9手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
						金	王		七
						金	金		八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

詰上がりが入っています。

【解説】

詰上り四角の象形曲詰。まるでダイヤモンドの飾りが付いた金のオブジェですね。

作者もこの詰上りを際立たせるため、金のみを使った逆算を考えたのだと思いますが、序にミニ金鋸の導入部が入ったことで、手順も面白くなったと思います。

さて、本局も最終手は玉を危険地帯に引き寄せる王手です。そして王手駒を逃がす応手に対する対策は「多重王手」です。**All-in-Shogi** でよく出てくる多重王手は両王手ですが、狙って作ればそれ以上の多重王手も作ることができます。ただ、金による近接王手の三重王手はフェアリーとしても珍しく、作者が気に入っているのも分かりますね。四金詰より美しい、三重王手の三金詰でした。

【短評】

たくぼんさん

すごい金の3重王手ですね。最高何重王手が可能かやってみたくになりますね。

一乗谷酔象さん (※誤解)

隅金で詰む形に導く。

☆一乗谷酔象氏は「16 金 26 金(16) 27 金 37 金 (27) 27 玉(17) 28 玉 19 金 17 玉 18 玉(17) まで」の解答でした。これは最終手に対し「19 玉」の逃れがあります。どこかでルールに関する誤解があるのかもしれませんが。

■ 110-11 尾形充氏作（正解 3 名）

最善自玉詰 14 手

				と			王	一
			龍					二
				と		王		三
						龍	歩	四
				馬				五
								六
								七
								八
								九

持駒 金2

※同手数駒余りを劣位変化とする

【解答】

31 金 同玉 33 龍 32 龍 42 龍 21 玉  
 11 金 同玉 31 龍 21 龍 12 と 同角  
 22 龍 同龍 まで 14 手

(詰上り)

				と			王	一
							龍	二
				と		王		三
							歩	四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 なし

〔主な変化〕

- ・ 2 手目 11 玉は 12 と～22 龍
- ・ 4 手目 32 他合は 41 金、21 玉、32 龍、11 玉、21 龍以下
- ・ 6 手目同玉は 52 金以下
- ・ 10 手目 21 合は同龍以下同手数駒余り (劣位変化)

【作者のコメント】

双方竜の攻防。

攻方着手はオール捨駒というだけでなく、その局面で一番味が良い手となるよう仕上げたつ

もりです。

【解説】

もし 24 龍がいなければ「22 と 同龍」で簡単。

これに気づけば龍を何とか処分しようという方針が立てられます。

これに受方も龍を使って対抗します。受方の龍さえいなくなれば、攻方玉を詰めるのは困難になるからです。

かくして、攻方・受方の双方が、どちらも龍を消そうとする奇妙な応酬が繰り広げられることとなります。

そのやり取りの中で一際光るのが 5 手目の 42 龍。自玉詰は受方が攻方に協力しないので、紐付きでない捨駒は普通詰将棋と同様「妙手」なのです。この手に対して 6 手目同玉とされないよう、43 金が配置されているのですが、これは初手 32 と以下の早詰を防ぐと同時に、3 手目 33 龍を「捨駒」にする働きも持っています。

6 手目 21 玉と、玉を隅に追い込めれば一安心。捨駒の連続で龍を押し売りし、当初の目的だった 22 龍の詰上りが実現します。

本局は双方の龍の押し売りを柱とした一貫した手順を、高い完成度で仕上げた佳作だと思います。

【短評】

変寝夢さん

龍の移動合は見えていても、それでも最後の 21 龍は気づきにくかった。

たくぼんさん

自玉詰が普通に感じられるくらいの感じ。解いてて楽しかったです。32 龍が自玉詰らしい一着。

一乗谷酔象さん

「何で俺が龍を取らなきゃならないんだ」  
 「それだったら俺が取るよ」  
 「いやいや、それなら俺が取るよ」  
 「どうぞどうぞ」  
 ウエシマ"竜"作戦でした。

☆今回の作品展ではこの作品が一番易しかったようですね。対抗系ルールは独特の厄介さが

あるはずですが、ルールに関する誤解や見落としを心配しなくて良いので、安心して解くことができるのが大きいと思います。

【総評】

変寝夢さん

盤上に■マークを見つけると、半分諦め模様です・・・。

たくぼんさん

今回は苦しみました。  
ここらへんがいっぱいいっぱいです。

☆皆さん **Imitator** には苦しめられているようですね。第 111 回作品展も **Imitator** 作品が大量に出題されているので、解答が集まるかどうか心配です。

筆者の経験だと、最初は難しいルールだと思っても、慣れるとそう感じなくなる場合があります。例えば「対面」ルールは最初のうちこそ目まぐるしい性能変化に戸惑いましたが、一通り手筋を知った後は苦手意識がなくなりました。フェアリー駒だと **Grasshopper** 等もそうですね。果たして **Imitator** が難しいと感じるのが、慣れるまでの一時的な現象なのかどうか、もう少し様子を見てみましょう。

以上



## 結果稿を読んでの感想

一乗谷酔象さん

110-6

"作意を見た上での感想を"とのことなので。  
(a) 解答が未発見の余詰解だったとは意外でした。確かに中立馬を使えば詰みやすいですね。

(b) 「駒のいる地点をたどるのは飛の方が得意」との作者コメントに納得。12手では詰みと関係の無い香を取る手を入れるのが難しいと思ったが、99の中立香を取る手があるとは。なるほど。

110-7~10

変寝夢さんの作品群に誤解答してしまう。ルールに関する誤解ではなく単に"うっかり"でした。メ切り間際の悪あがきはよくありません。

点鏡協力詰 5手

										一
	銀									二
										三
										四
										五
										六
										七
								玉		八
					ス					九

持駒 銀

おもちゃ箱では初めて登場した点鏡ルールの協力詰。点鏡ルールは昨年轟飛龍さんが提案した新しいルールです。これから発展していくと思いますので、この機会に覚えてしましましょう。

本作は点鏡ルールの特徴をフルに活かした手順で、ルールを覚えるにはぴったりの作品。といっても、このルールに慣れていないと解くのは大変です。

持駒が銀1枚しかなく、3手目に入手できる駒もないので、この銀で詰めるしかありません。現在玉は角の動きですが、角や玉の動きでは銀1枚では詰まないのは明らかなので、何かほかの弱い駒を発生させて玉の動きをその駒に変えることを考えましょう。

- 1 手目 銀打の王手。
- 2 手目 銀の点対称位置に弱い駒を打って、銀の動きを変えて王手回避。
- 3 手目 弱い駒になった銀を移動して王手。
- 4 手目 弱い駒の点対称位置に玉が移動。
- 5 手目 銀が移動して王手で詰み。

行き所のない駒の発生はルール上 OK なので、桂香歩を発生させて、玉を行き所のない駒にするのが良さそうです。

玉は角の動きなので、19に行かせて桂香歩の動きにできれば行き所がなくなります。

初手19銀に91に駒を打って防ぐのが点鏡独特の受け。

91に打つ駒は歩・香・桂いずれも考えられますが、19銀がその駒の動きになってしまうので、91歩(91桂)では次に動けるのは18銀(27銀)しかなく、王手になりません。91香なら次に17銀が王手になるので、これが正解です。

19銀、91香、17銀、19玉、28銀  
まで5手

詰上図

										一
皇										二
	銀									三
										四
										五
										六
										七
							銀			八
					ス			玉		九

持駒 なし

28銀は82に角がいるので角の動きで、確かに19玉に王手をかけています。一見同角ととられそうですが、82角は銀の動きになっているので大丈夫、これで詰め上がりです。

作者 「点鏡は、轟飛龍氏考案のルール(2018年8月、Twitterで発表)。fmzaで検討できるようになったので、いろいろ試して遊んでいます。本作のポイントは2手目の香打ち。

- ・攻方銀の性能の変化
  - ・4手目に玉を19に移動させて性能を変化させ、動けなくする
- 上記2つの効果があります。  
ちなみに、3九とは余詰(初手3九銀以下)消しのための配置です」

敵味方どちらでも動きが変化する、ちょっと過激なルール。本作を見ると、いろいろおもしろい作品が作れそうな気がしてきますね。皆さんもいかがですか。

Web Fairy Paradise 第127号、第128号、第129号(PDF)でも点鏡協力詰が出題されているので、興味を持たれた方はこちらも挑戦してみてください。

それでは、みなさんの感想を。解答到着順です。

のくせにさん：点鏡ルールフル稼働。

金少桂さん：玉を行き所のない駒にするにはどうすればよいかを考えて解きました。初めてみるルールですが、点対称の離れた地点も活用していて面白いです。

山下誠さん：玉の性能を極力落とすことを考える。

S.Kimuraさん：点対象の位置に駒を打って攻方を助けることに気付くまで、しばらく時間がかかりました。

津久井康雄さん：点鏡詰、初めてです。2手目に駒を打たせることに気づくまで一苦勞。面白かったです。

占魚亭さん：自作。点鏡ルールの感覚を掴んでいただければと思います。

池田俊哉さん：ガイドンスにしては手ごわい。91香が点鏡らしい妙手

小山邦明さん：点鏡ルールを残念ながら理解できず。

★解説をごらんください。わからないことがあれば、おもちゃ箱掲示板やメールで遠慮なくご質問を。

おかもとさん：なるほど、これで詰んでいる……

波多野賢太郎さん：短い手数でもかなり頭を使って面白かったです。1九で香と化した玉が滑稽ですね。

諏訪冬葉さん：△82角の存在理由に迷いました。

★82角がないと、28銀に82歩とかの受けがあつて、まだ詰んでないんですね。

たくぼんさん：銀の3角攻めと玉の利きを無くす91香の限定が上手い。

\*\*\*\*\*

カピタン展示室No. 30 解答：11名 全員正解

池田俊哉さん S.Kimuraさん おかもとさん  
金少桂さん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん 津久井康雄さん のくせにさん  
波多野賢太郎さん 山下誠さん

\*\*\*\*\*

## Fairy TopIX2018投票結果

2018年のFairy TopIX投票結果発表です。

投票者は、青木裕一、変寝夢、橋本孝治、縫田光司、占魚亭、Pontamon、はなさかしろう、上谷直希、酒井博久、たくぼん（敬称略）以上10名でした。昨年は12名でしたが、10日目には数名程度でしたので昨年同様お願いメールをさせて頂きました。対応頂いた方々にはお礼申し上げます。

2017年にネット上で発表された候補作は、短編99作（前年140作）、中編18作（前年17作）、長編16作（前年18作）、推理将棋（短中長）21作（前年31作）、の計154作（前年206作）でした。総数は昨年より52作減。部門別ではフェアリー作品短編、推理将棋が特に減少しました。

では各部門別に発表します。申し訳ありませんが敬称は略させていただきますのでご了承下さい。

### 【短編部門】

投票者：橋本孝治、変寝夢、占魚亭、縫田光司、青木裕一、酒井博久、はなさかしろう、たくぼん 計8名

短編部門、1位は変寝夢さんのPWC協力詰と神無太郎氏の成禁協力自玉詰が同率1位。共に1位票を2名ずつ獲得しました。投票者の好みに分かれた感じになりました。3位にも変寝夢氏のリパブリカン協力詰が入りました。インパクトありましたね。2018年の短編は飛び抜けた作品がなかったという結果になりました。

記載は、順位、一覧の番号、作者名、出題年月、出題場所、ルール、手数、お気に入り投票ポイントです。同位の場合は一覧の番号順に記載しています。



🌀 1位 短 15 変寝夢 2018/3  
第100回WFP作品展 100-3

10pt

PWC協力詰 13手

									飛	一
										二
							●			三
										四
										五
								●		六
										七
										八
						▲	王		▲	九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし  
※飛、角、歩は中立駒  
●:石 (着手不可、不透過)

28n 角 19n 角成 同 n 飛生/11n 馬 28 玉 29n  
飛 17 玉 19n 飛 49n 飛生/19n 歩 18n 歩 19n  
歩成 同 n 飛/49n と 28 玉 11n 飛成/19n 馬 ま  
で 13 手

(詰上り)

										龍	一
											二
							●				三
											四
											五
											六
								●			七
									王		八
						▲				▲	九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

### 受賞コメント 変寝夢

このたびは短編で1位ということで、どうも有り難うございました。創作動機は最終1手で



そこからの逆算ですが、3つの攻駒を初形の位置で成駒にする手順になったのは幸運でした。変身ルール&中立駒で面白い組み合わせは、まだまだありそうなのでチャレンジしていきたいと思います。

★ 初形配置の中立駒の生駒が詰上りにすべて成駒に変わる。100回記念作品展に相応しいインパクトを持った作品でした。

**占魚亭 1位**

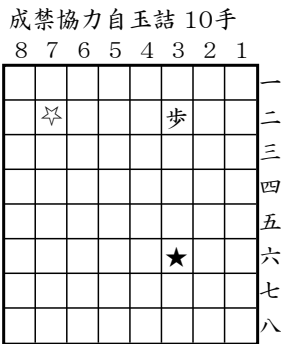
中立駒3枚の成らせ。素晴らしい作品でした。

**たくぼん 1位**

初形の攻方の生駒が全て成駒に変身する手順に感動しました。

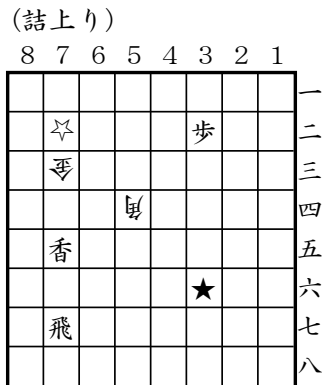
**🌀 1位 短 49 神無太郎 2018/8  
第103回 WFP 作品展 103-sp**

10pt



持駒 飛2香  
※★:攻方Torus-Root-RSA-2048-Leaper王  
☆:受方Torus-Triple-Root-RSA-2048-Leaper王

78 飛 77 角 同飛 76 角 75 香 74 金  
73 飛 同金 54 角 同角 まで 10手



持駒 なし

**受賞コメント 神無太郎**

注力したのは詰将棋以外の部分で、その点に関しても作者が用意した解答はエレガントでも精密でもありませんでした。そういう意味で受賞は意外でした。今後も懲りずに好きなものを作り続けていきたいと思っています。

★ 私にはさっぱりですので解説を読んで頂きましょう(笑)最近こういうのが多くて個人的には苦勞しています。

**橋本孝治 1位**

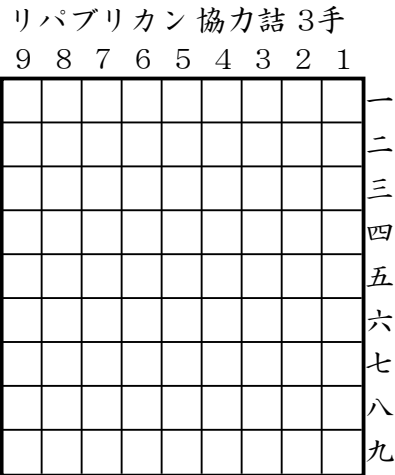
インパクト重視ならこれが一番。原理的には正体分かるはずなのに、現実的には正体不明の駒。そんな駒を使っているのに解答だけは分かるという可知と不可知の境界線上に存在する作品。

**はなさかしろう 1位**

数学が本質からしてわかっていないのに憧れだけはあるもので、解くのはおろか解答を読んでもわからないのですが、ああでもないこうでもないと考えるだけでちょっと幸せです。

**🌀 3位 短 66 変寝夢 2018/10  
第106回 WFP 作品展 106-5**

7pt



攻方持駒 n銀 n桂  
受方持駒 なし  
※持駒銀桂は中立駒

27n 桂 19n 桂成 28n 銀(+18玉) まで 3手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
							銀	王	八
								州	九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

**受賞コメント 変寝夢**

短編で3位ということでびっくりしています。本作は正にコロンブスの卵的な発見で特別思い入れもなかったせいか、最終手が王手駒でないところはリパブリカンらしさが出ているかなと今になって気づいたりしています。

これからも VM2 とマイナールール路線で (以外もね) 頑張りたいと思います。

★過去にあったか無かったか？盤面に何も無い作品。図面を間違っているのかと思いました。それだけインパクト絶大だったということです。投票者の皆さんも驚きのコメント多数でした。創ろうと思ってもなかなか創れないのでなおさらです。

**橋本孝治 2位**

印象度で選ぶとこれも外せません。裸玉どころか無玉とは！盤上が白紙状態なので作図問題と間違えたかと思ってしまいます。

**たくぼん 3位**

このインパクトは文句なし。誤図と思いましたよ。

**はなさかしろう 3位**

盤上駒なし！ それだけでご飯一杯いけてしまう、という感じです。



**4位 短 17 sogá 2018/3  
第 100 回 WFP 作品展 100-7**

6pt

詰将棋 10手 (※受先)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
							と	と	馬
								王	香
								桂	王
									六
									七
									八
							銀	香	九
							銀		九

攻方持駒 歩

受方持駒 銀

37 銀 同銀 同玉 38 歩 36 玉 37 銀  
47 玉 48 銀引 36 玉 37 歩 まで 10 手

**青木裕一 3位**

先手番なら不詰なのが良い。

**縫田光司 3位**

明確な狙いがシンプルに表現されていて好みです。

**占魚亭 3位**

シンプルで好きな作品。

**5位 短 11.12 上谷直希 2018/2  
第 99 回 WFP 作品展 99-7a、b**

5pt

協力詰 5手

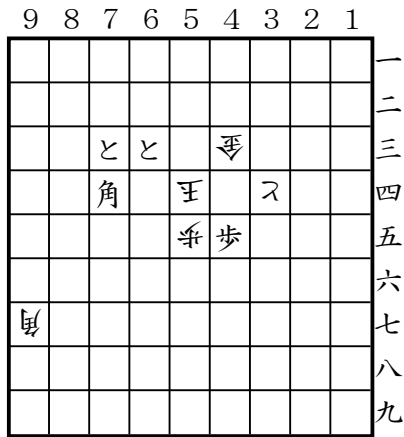
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

64 と 同角生 63 角生 53 玉 54 銀 まで 5 手

協力詰 5 手



持駒 銀

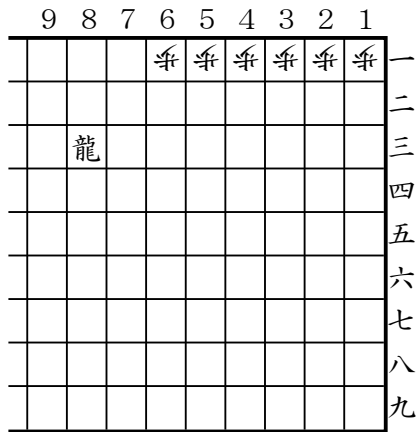
64 と 同角成 65 銀 同馬 63 角成 まで 5 手

青木裕一 1 位

個々の手順の完成度と 2 つの手順の対比が両立している。

5 位 短 45 青木裕一 2018/7  
第 103 回 WFP 作品展 103-7

左無限盤最善詰 3 手



持駒 桂▲

※透明駒:攻方0枚 受方1枚  
▲:覆面(m,0)-rider(m≥2)

34 桂 -X 82▲ まで 3 手

縫田光司 1 位

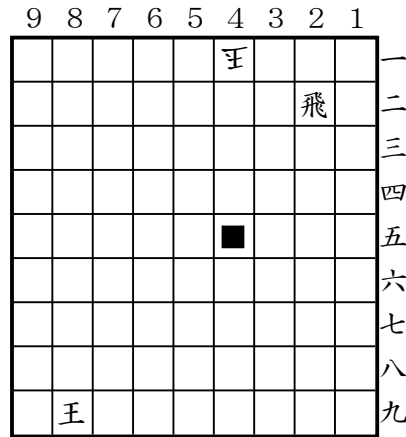
原図が不完全だったのは残念でしたが、それを差し引いても「三つ子素数の一意性」の簡

潔な表現が面白いと思います。

5 位 短 70 青木裕一 2018/10  
第 106 回 WFP 作品展 106-9

5pt

最善詰 5 手



持駒 金

※■:Imitator

42 金 44 角 32 飛成[I55] 22 角[I33] 99 王[I43]  
まで 5 手

たくぼん 2 位

どうやっても早く詰む。どうすれば延命するのかを考える不思議な解図でした。

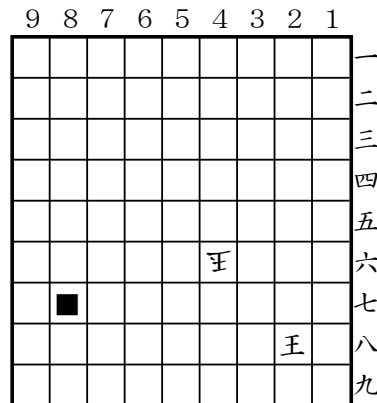
変寝夢 3 位

最後の一手がとうとう見つからなかったという点で、印象に残りました。

5 位 短 74 占魚亭 2018/11  
第 107 回 WFP 作品展 107-8

5pt

AntiAndernach協力自玉詰 6 手



攻方持駒 飛

受方持駒 角2

※■:Imitator

96 飛 37 角 38 王[I97] 28 角生転[I88] 39 角転 [I99] 49 角 まで 6 手

**変寝夢 1 位**

3 9 角転には衝撃を受けました。

9 位 短 52 神無太郎 2018/8  
第 104 回 WFP 作品展 104-3

協力詰 7 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							■		一
									二
									三
									四
									五
								王	六
									七
									八
									九

持駒 金2  
※■:Imitator

18 金 21 香 16 金 28 香生[I29] 26 金[I39] 16 玉[I38] 27 金上[I47] まで 7 手

**占魚亭 2 位**

この号で太郎氏は飛・角・香の連作を発表されましたが、個人的に目から鱗だったのが本作。

**変寝夢 次点**

imitator の周りに駒がない詰め上がりが美しい



10 位 短 8 変寝夢 2018/2  
第 99 回 WFP 作品展 99-4

3pt

協力詰 5 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						爵			三
				麋		王			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 麋  
※麋:Moose

31 麋打 32 銀 同麋 13 玉 23 銀 まで 5 手

**はなさかしろう 2 位**

フェアリー駒は苦手でこのシリーズも 1 問誤答しましたが面白かったです。本問は詰め上がりも綺麗で印象に残っています。

10 位 短 37 青木裕一 2018/5  
第 102 回 WFP 作品展 102-10

3pt

レトロ協力詰 -2+1 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					銀				四
					飛				五
				歩		王			六
									七
					王				八
									九

持駒 なし  
※実戦初形から到達可能であること

46 玉(+36 銀) 15 飛 / 47 銀 まで -2+1 手

**縫田光司 2位**

この簡素な形と手数で、但し書きという名のヒントまで付いているにもかかわらず、えらく苦戦した印象が残っています。

**10位 短63 神無太郎 2018/10  
第106回 WFP 作品展 106-1**

協力詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
								■	五
								王	六
									七
									八
									九

持駒 金歩  
※■:Imitator

17歩 27玉[I26] 37金 16飛 同歩[I25] 15飛  
17飛 85飛[I95] 19飛[I97] 16玉[I86] 26金  
[I75] まで 11手

**変寝夢 2位**

85飛の後の手順が素敵

**10位 短73 上谷直希 2018/11  
第107回 WFP 作品展 107-6**

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
								王	六
								垂	七
								銀	八
								○	九

攻方持駒 角  
受方持駒 なし  
※Q:Queen王

83角打 49Q 65飛 29Q 85飛 49Q 45飛 まで 7手

**橋本孝治 3位**

昨年度、最も短編らしい短編と感じたのがこの作品。予定調和的すぎる気もしないではないですが、洗練された作品はやはり良いものです。

**変寝夢 次点**

個々の手がどうこうというわけではないが、作者の意志を強く感じました。

**10位 短99 尾形充 2018/1  
第98回 WFP 作品展 98-6**

3pt

安南詰 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

55金 46玉 56金 同玉 45銀 46玉 64馬 45玉 37龍 44玉 45香 同玉 55馬 同玉 57龍 まで 15手

3pt

**青木裕一 3位**

普通詰将棋の綺麗な手筋物の雰囲気。



15位 短10 占魚亭 2018/2  
第99回 WFP 作品展 99-6

協力自玉詰 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	一
								二
								三
								四
								五
								六
		王						七
								八
								九

攻方持駒 n夜2 nG  
受方持駒 残り全部+n夜4 nG4  
※夜:中立Nightrider  
G:中立Grasshopper

64n 夜 43 角 46n 夜打 32 玉 98nG 54n 夜打  
78n 夜 87 金 まで 8手

たくぼん 次点

とっつき難い作品でしたが考えれば考えるほど味が出る作品。

15位 短14 占魚亭 2018/3  
第100回 WFP 作品展 100-2

協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	一
				王				二
		飛	歩	卒	駒	■		三
				桂				四
								五
								六
							飛	七
								八
								九

持駒 なし  
※■:Imitator

1pt

53 歩成[I23] 13 香 33 桂成[I11] 19 香成[I17]  
54 と[I18] 53 玉[I28] 43 圭[I38] まで 7手

変寝夢 次点

なんともいえない最終図。

15位 短31 占魚亭 2018/5  
第102回 WFP 作品展 102-5

1pt

AntiAndernach協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
							王	三
					王			四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 香  
※■:Imitator

49 香 48 飛 同香[I76] 74 桂 65 飛 66 桂転[I68]  
15 王[I59] まで 7手

変寝夢 次点

今までの氏の imitator 物とはちょっと違う気がしました。

15位 短58 神無太郎 2018/9  
第105回 WFP 作品展 105-1

1pt

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
								六
								七
							王	八
							■	九

持駒 金銀  
※■:Imitator

19 銀 17 玉[I28] 27 金 18 角 28 銀[I37] まで  
5 手

**変寝夢 次点**

消極的な合駒のアイデアが面白かった。

15 位 短 79 上谷直希 2018/2

Fairy of the Forest #54-01

1pt

協力詰 5手 (2解)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				皇					三
									四
									五
				歩					六
				王					七
					香	龍	龍		八
					角	角			九

持駒 なし

a)27 龍左 37 香 47 香 39 香成 58 龍 まで 5 手

b)17 龍 27 桂 47 香 39 桂成 58 龍 まで 5 手

**酒井博久 次点**

2 解の対比が明快。

**【短編部門 総評】**

**橋本孝治**

短編は候補作が多いので、主にインパクト重視で投票作を決めました。他にも良い作がありましたが、迷い出すとキリがないので、敢えて次点は選ばず、3 作のみに投票します。

**変寝夢**

Imitator、リパブリカン、レトロ、ALL-IN-SHOGI で短編の半分以上を占めちゃいましたね。今年度はどのルールが流行るのだろうか？


**Pontamon**

フェアリー詰将棋の短編ではいくつか解けたものがありますが、あまりにも少なすぎるので投票は遠慮させていただきます。

**【中編部門】**

投票者：変寝夢、橋本孝治、青木裕一、占魚亭、酒井博久、一乗谷酔象、はなさかしろう、縫田光司、たくぼん 計 9 名

中編部門の投票者は 9 名でした。2017 年は 17 作でしたが 2018 年は 18 作と発表作が微増。1 位は神無七郎氏の中立駒入り協力詰。2 位ははなさかしろう氏の覆面駒の協力自玉スタイルメイト。3 位は青木裕一氏の安南最善詰です。

 1 位 中 3 神無七郎 2018/1  
第 98 回 WFP 作品展 98-7

14pt

協力詰 39手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							王		三
					歩	歩	歩		四
				又	角	王			五
				歩	歩			歩	六
				龍		桂	龍		七
					桂	桂	又		八
					桂				九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※27 飛は中立駒

25n 飛 26n 飛 36n 飛 46n 飛 36n 飛 26n 飛  
25n 飛 27n 飛成 36n 龍 47n 龍 46n 龍 48n 龍  
46n 龍 49n 龍 46n 龍 47n 龍 36n 龍 27n 龍  
25n 龍 14n 龍 15n 龍 25 桂 同 n 龍 14n 龍  
15n 龍 25 桂 47 桂 同飛成 25n 龍 14n 龍 15n  
龍 25 桂 同 n 龍 27n 龍 36n 龍 同龍 27 桂 同  
龍 47 桂 まで 39 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
							王		三
				歩	歩	歩			四
			ス	角	王				五
			歩					歩	六
				桂	桂	驥			七
					桂	ス			八
									九

持駒 なし

### 受賞コメント 神無七郎

本作に投票してくださった皆様、ありがとうございます。中立駒は攻方の駒も取れるので、盤上の攻方駒が持駒に変わる手順を比較的容易に実現することができます。ともすれば無理作りになり易い構想を、流れるような趣向手順で実現できたのは、中立駒を使ったおかげですね。私は担当業務のため、ルール説明や自分自身がルールに慣れるための例題を作ることがあります。本作はその素材の一つを膨らませたもので、自分がもし担当業務をしていなかったら、生まれなかった作品だと思います。

★ 中立駒をうまく趣向手順に生かした作品で適度の難易度で、謎解き要素を加え一つの完成品と言えるでしょう。解答者が解けたら気持ちよくなる要素満載の一作。

### 変寝夢 1位

どうしたら中立駒をこんなにうまく捌けるのかと、不思議に思う。

### 青木裕一 1位

良質のパズル作。

### 縫田光司 2位

考えごたえのある、解いていて楽しいパズルの味わいでした。

### たくぼん 次点

楽しい作品。

🌀 2位 中7 はなさかしろう 2018/3  
第100回 WFP 作品展 100-12

13pt

協力自玉スタイルメイト 24手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			▲						一
									二
						▲			三
									四
					▽	▽			五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 ▲8歩3

受方持駒 △12

※▲:攻方覆面駒、△:受方覆面駒

65▲(打)、55▽(打)、56▲(打)、同▽(45)、34▲(打)、65▽(56)、74▲(打)、同▽(65)、63▲(打)、同▽(74)、64歩(打)、同▽(55)、62▲(打)、同▽(63)、44▲(打)、61▽(62)、54▲(43)、34▽(25)、72▲(打)、同▽(61)、73歩(打)、同▽(72)、74歩(打)、同▽(73)まで24手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			銀						一
									二
					王				三
									四
					王	驥			五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 飛角2金3銀2歩3

受方持駒 銀





(最終形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
		王	將	王	角	龍		四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 なし

**受賞コメント はなさかしろう**

本問を見ていただいた皆様、投票いただいた皆様、誠にありがとうございます。たいへん嬉しいです。普段やっている推理将棋は、どちらかといえば発見で、発明の要素が多分に必要な詰将棋はなかなか作れなかったのですが、本問はおおもとのアイデアを WFP95-6 (神無太郎さん作) から頂けたのが大きかったです。本問は 61▲ が銀である証明がポイントで、当時かなりがんばったつもりでしたが、改めて見ると、このコンセプトがより短手数で表現できないものかとも思います。

★ 100 回記念作品展で正解者がなく解答延長したにも係らず結局正解者が出なかった一作。私もかなり考えましたが討ち死にしました。一乗谷氏は本作だけの投票でした。それだけ思い入れがあったのでしょう

**一乗谷酔象 1 位**

正解者なしの難解作。43 の自玉の後から 34 角を打ち、打った角を龍に取らせる構想が秀逸。銀 4 枚を品切れにさせ、1 手で龍を確定させる素晴らしい手順。詰上がり「一」がも見事。

**たくぼん 1 位**

散々考えたが解けなかった作品。解答見て詰上がり「一」と分りまたビックリ。

**橋本孝治 2 位**

歩 3 枚以外は盤上の配置も持駒も覆面駒ばかり。大量の覆面駒を使って曲詰を成立させた意欲作だと思います。

🌀 3 位 中 10 青木裕一 2018/11  
第 107 回 WFP 作品展 107-7

11pt

安南最善詰 27 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				と	と		王	一
								二
						王		三
				飛				四
			と				歩	五
								六
								七
								八
								九

攻方持駒 歩4  
受方持駒 なし

24 歩 13 玉 23 歩成 同玉 43 歩 33 歩 同歩成 同玉 32 と 同玉 33 歩 同玉 43 歩 32 玉 42 歩成 23 玉 43 歩 33 歩 同歩成 同玉 43 歩 32 玉 13 歩成 33 玉 43 と 32 玉 22 と まで 27 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				と			王	一
						王	と	二
				と				三
				飛				四
			と				歩	五
								六
								七
								八
								九

攻方持駒 なし  
受方持駒 歩3

**受賞コメント 青木裕一**

本作は打歩詰打開の持駒譲渡を狙いにした構想作を想定して創作開始しました。しかし、最終的に新手筋が入ったミニパズルになりました。入賞もしたこと ですし、これはこれで良かったと思います。

★ 安南詰ながら持駒譲渡という狙いを見事に実現していますがこれまでの安南詰とは異なる感覚の手順で、私はなにか別物を見ているような気がしました。

**橋本孝治 1位**

昨年の中編で一番印象に残っているのがこの作品です。対抗系ルールでの持駒譲渡という、構想の新しさだけでなく、手順全体を歩の活躍でまとめ上げた、表現の一貫性を高く評価したいと思います。

**占魚亭 1位**

1歩渡す序の4手が面白い。安南の傑作。

**たくぼん 次点**

安南詰でこの感覚の作品は見たことがありません。

**4位 中1 青木裕一 2017/3**

**第98回 WFP 作品展 98-5**

**最悪詰 29手**

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
					糸				三
				糸					四
									五
			玉			科			六
			駒		王			王	七
			糸			糸			八
	金			角					九

**持駒 香**

49香 48香 同香 37玉 44香 47玉 49香 48香 同香 37玉 45香 47玉 49香 48香 同香 37玉 46香 47玉 49香 48飛 同香 37玉 57飛 同馬 47香 48飛 同角 同馬 27飛 まで 29手

**縫田光司 1位**

手順自体は軽趣向ながら、攻方が歩を取らない意味付けの処理が巧みで好みです。

**占魚亭 2位**

香の積み上げの意味付けに「なるほど」でした。

**5位 中6 尾形充 2018/3**

**第100回 WFP 作品展 100-10**

7pt

**最善白玉詰 18手**

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					王				一
									二
									三
			龍			駒			四
						馬			五
									六
									七
									八
									九

**持駒 銀桂**

52銀 42玉 53馬 33玉 25桂 32玉 41銀生 同玉 61龍 32玉 21龍 同玉 33桂生 32玉 22桂成 33玉 23圭 同龍 まで 18手

**変寝夢 2位**

序盤が秀逸。最善系は攻方の着手選択に緊張感が生まれるので白玉詰と相性がいいのかなと思います。

**橋本孝治 3位**

不詰感漂う初形からフェアリーでは珍しく粘りある手順が展開される作品。一つ一つの着手に抵抗感があり、「長い短編」でも「短い長編」でもない、中編らしい中編作品です。

**たくぼん 3位**

作者が自賛するのも納得の手順。変化、紛れ、作意とも文句なし。



6位 中5 青木裕一 2018/3  
第100回 WFP 作品展 100-4

最悪詰 47手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						科	歩	遊	五
								王	六
						桂			七
糸	糸	糸	糸	糸	糸		飛	桂	八
						角	王	金	九

持駒 歩

17歩 同玉 48飛 27玉 28飛 16玉 17歩 同玉 58飛 27玉 28飛 16玉 17歩 同玉 68飛 27玉 28飛 16玉 17歩 同玉 78飛 27玉 28飛 16玉 17歩 同玉 88飛 27玉 28飛 16玉 17歩 同玉 98飛 27玉 28飛 16玉 17歩 同玉 38飛 27玉 28金 16玉 27金 同玉 28飛 16玉 26飛 まで 47手

はなさかしろう 1位

最悪詰は頭がねじれそうになりますが、解けるととても楽しいです。

たくぼん 次点

誤解したいましたので1票。

7位 中14 神無七郎 2018/8

Fairy of the Forest #56-03

協力詰 47手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
科				王		科			五
		桂	桂	手	手	桂	桂		六
	科	桂				手		桂	七
		桂	桂	桂				桂	八
									九

持駒 桂19

6pt

47桂 同桂生 67桂 45玉 57桂 35玉 27桂 26玉 38桂 同圭 18桂 27玉 39桂 同桂成 19桂 37玉 49桂 同圭寄 29桂 47玉 59桂 同圭 39桂 57玉 69桂 同圭 49桂 67玉 79桂 同桂成 59桂 77玉 89桂 87玉 99桂 96玉 88桂 85玉 97桂 75玉 87桂 65玉 57桂 55玉 47桂右 同圭右 67桂 まで 47手

変寝夢 3位

桂で追い手順ができるとは。

占魚亭 3位

桂づくしの桂馬パズル。「お見事！」というほかない作品。

酒井博久 次点

桂づくしの中に光る論理性。

8位 中19 神無七郎 2018/12

ちょっと早い2019年年賀詰作品展 4

3pt

Isardam協力自玉詰 24手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
					と				五
					王				六
					入				七
					歩				八
					玉				九

持駒 なし

57歩 同玉 58歩 56歩 同と 47玉 48歩 46歩 57と 36玉 47と 45玉 36と 55玉 45と 56玉 57歩 55歩 同と 57玉 56と 47歩成 58歩 同と 迄 24手

たくぼん 2位

まさにダルマ落とし、題名と作意順の関連性、年賀詰の初形1と相まって文句なしにお気に入り。

9位 中11 たくぼん 2018/2  
Fairy of the Forest #54-03

2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						ス	ス	ス	五
						ス	皇		六
						ス	ス	王	七
						ス			八
									九

持駒 桂4歩5

18歩 同と 29桂 同と 18歩 16玉 28桂 同香  
成 17歩 同玉 18歩 同玉 19歩 27玉 39桂  
26玉 18桂 同杏 27歩 17玉 18歩 16玉 17  
香 まで 23手

縫田光司 3位

いかにも手が限られているし、やるべきことは明確なので、当時解こうとしたんですが結局解けなかったんですね…。そのことが妙に印象に残っています。

10位 中4 尾形充 2018/2  
第99回 WFP 作品展 99-10

最悪詰 17手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			龍						四
							銀	科	五
			角						六
							飛		七
								王	八
							角		九

持駒 金

17金 同玉 44角 35桂 同角 26金 同角 16玉

28桂 同飛生 27金 同桂生 14龍 15金 25龍  
同金 17銀 まで 17手

変寝夢 次点

心地よい手筋物。玉方の都合（合駒で手数伸びる）と攻方の事情（持駒を余らせて詰ますことが難しい）がうまく組み合わさっている。

【中編部門 総評】

橋本孝治

中編は候補作数は多くありませんが、面白い作品が多かったように感じます。次点で投票するかどうか迷ったのですが、短編部門と同様の理由で3作のみ投票しました。

変寝夢

アイデア、発想メインより手を繋いでいくような作品が面白かったです。



1pt

【長編部門】

投票者：変寝夢、橋本孝治、青木裕一、占魚亭、はなさかしろう、縫田光司、Pontamon、上谷直希、酒井博久、たくぼん 計10名

長編部門の投票者は10名でした。1位は神無七郎氏のPWC協力詰の趣向作。2位には神無太郎氏の素数判定器、3位には一乗谷酔象さんの天使詰が入りました。

🌸 1位 長6 神無七郎 2018/3  
第100回 WFP 作品展 100-13

25pt

PWC協力詰 283手

									王	一
									科	二
									糸	三
										四
									駒	五
									飛	六
									糸	七
										八
										九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし  
※零:(0,0)-leaper王  
36飛は中立駒・成らない

16n飛 26n飛 25n飛/26銀 24n飛 14n飛 94n飛 95n飛 35銀 同 n飛/95銀 34n飛 14n飛 94n飛 95n飛/94銀 同角/51n飛 55n飛生 56n飛 16n飛 96n飛 95n飛/96角 85銀 同 n飛/95銀 同角/96n飛 16n飛 86n飛 85n飛/86角 84n飛 14n飛 74n飛 75n飛 同角/86n飛 16n飛 76n飛 75n飛/76角 74n飛 14n飛 64n飛 65n飛 同角/76n飛 16n飛 66n飛 65n飛/66角 64n飛 14n飛 54n飛 55n飛 同角/66n飛 16n飛 56n飛 55n飛/56角 54n飛 14n飛 44n飛 45n飛 同角/56n飛 16n飛 46n飛 45n飛/46角 44n飛 14n飛 34n飛 35n飛 同角/46n飛 16n飛 36n飛 35n飛/36角 34n飛 14n飛 同角/36n飛 16n飛 96n飛 95n飛/96銀 94n飛 14n飛/94角 84n飛 85n飛 同角/94n飛 14n飛 84n飛 85n飛/84角 同銀/96n飛 16n飛 76n飛 75n飛 同角/84n飛 14n飛 74n飛 75n飛/74角 76n飛 16n飛 66n飛 65n飛 同角/74n飛 14n飛 64n飛 65n飛/64角 66n飛 16n飛 56n飛 55n飛 同角/64n飛 14n飛 54n飛 55n飛/54角 56n飛 16n飛 46n飛 45n飛 同角/54n飛 14n飛 44n飛 45n飛/44角 46n飛 16n飛 36n飛 35n飛 同角/44n飛 14n飛 34n飛 35n飛/34角 36n飛 16n飛 同角/34n飛 14n飛 84n飛 85n飛/84銀 86n飛 16n飛/86角 76n飛 75n飛 同角/86n飛 16n飛 76n飛 75n飛/76角 同銀/84n飛 14n飛 64n飛 65n飛 同角/76n飛 16n飛 66n飛 65n飛/66角 64n飛 14n飛 54n飛 55n飛 同角/66n飛 16n飛 56n飛 55n飛/56角 54n飛 14n飛 44n

飛 45n飛 同角/56n飛 16n飛 46n飛 45n飛/46角 44n飛 14n飛 34n飛 35n飛 同角/46n飛 16n飛 36n飛 35n飛/36角 34n飛 14n飛 同角/36n飛 16n飛 76n飛 75n飛/76銀 74n飛 14n飛/74角 64n飛 65n飛 同角/74n飛 14n飛 64n飛 65n飛/64角 同銀/76n飛 16n飛 56n飛 55n飛 同角/64n飛 14n飛 54n飛 55n飛/54角 56n飛 16n飛 46n飛 45n飛 同角/54n飛 14n飛 44n飛 45n飛/44角 46n飛 16n飛 36n飛 35n飛 同角/44n飛 14n飛 34n飛 35n飛/34角 36n飛 16n飛 同角/34n飛 14n飛 64n飛 65n飛/64銀 66n飛 16n飛/66角 56n飛 55n飛 同角/66n飛 16n飛 56n飛 55n飛/56角 同銀/64n飛 14n飛 44n飛 45n飛 同角/56n飛 16n飛 46n飛 45n飛/46角 44n飛 14n飛 34n飛 35n飛 同角/46n飛 16n飛 36n飛 35n飛/36角 34n飛 14n飛 同角/36n飛 16n飛 56n飛 55n飛/56銀 54n飛 14n飛/54角 44n飛 45n飛 同角/54n飛 14n飛 44n飛 45n飛/44角 同銀/56n飛 16n飛 36n飛 35n飛 同角/44n飛 14n飛 34n飛 35n飛/34角 36n飛 16n飛 同角/34n飛 14n飛 44n飛 45n飛/44銀 46n飛 16n飛/46角 36n飛 35n飛 同角/46n飛 16n飛 36n飛 35n飛/36角 同銀/44n飛 14n飛 同桂/22n飛 25n飛生 24n飛 14n飛/24桂 同角/36n飛 35n飛/36銀 25角 同 n飛/35角 同銀/36n飛 16n飛 26n飛 25n飛/26銀 まで 283手

(詰上り)

									王	一
										二
									糸	三
									科	四
									駒	五
									飛	六
									糸	七
										八
										九

攻方持駒 なし  
受方持駒 なし

**受賞コメント 神無七郎**

本作が長編の部で一位の票を得たとのこと、大変嬉しく思います。本作は端的に言えば、呼び出し機構の掛け算を実現した作品です。前々からこの種の機構を実現したいという願望はあ

ったのですが、具体的な手段はまったく思い浮かばず、懸案として棚上げされていました。中立駒とPWCを使ってこれが実現できたのは運が良かったとしか言いようがありません。桂の配置や双玉は不本意で、作品の完成度には難がありますが、曖昧なイメージがちゃんとした形になった喜びの方が大きく、自分でも気に入っている作品です。

★ 100回記念作品展のトリを飾った名品。私が唯一の正解者となりましたが、苦勞したことしか覚えていなくてとにもかくにも感動しました。1位票を5名から投票される圧倒的な結果も当然です。

#### 変寝夢 1位

なぜそうなるかは考えず、目の前に現れる奇妙な手順を楽しみました。

#### 青木裕一 1位

この配置で300手弱はすごい。

#### 占魚亭 1位

「中立駒でこんなことができるとは！」と驚きました。

#### 上谷直希 1位

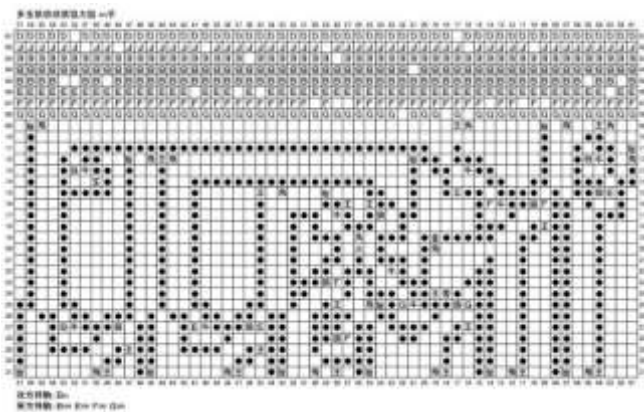
今年作品をすべて理解できているわけではありませんが、本作が受賞級であることに疑いの余地はありません。2枚の呼び出しを成立させる機構が秀逸です。

#### たくぼん 1位

凄いとしか言いようがない。解図してても鳥肌物。

#### 🌀 2位 長2 神無太郎 2018/3 第100回 WFP 作品展 100-1

18pt



作意は WFP121 号をご覧ください

#### 受賞コメント 神無太郎

本作「素数判定器」は、sogaさんの「詰将棋コンピュータ」をざっくりと半分にしたのもです。なので本来評価されるべきは私ではなくてsogaさん。未読の方にはぜひWFP74号(2014年8月)の『詰将棋コンピュータについての補足(soga)』を読んでいただきたく思います。

★ 青木さんの評に「ようやるわ」とありますが、良い意味で納得しますね。(フェアリー)詰将棋でいろいろなことを表現できるという事を改めて思います。

#### 縫田光司 1位

ただただ圧巻の一言です。作者もすごいと思いますが、発表時に3名も正解者がいたというのも驚きです。

#### 酒井博久 1位

素数判定器に驚愕。

#### 青木裕一 2位

ようやるわ、というのが正直な感想です。

#### たくぼん 2位

解図している感じがしませんでした。面白かった。ただ素数判定機という肝心の部分が理解できなかったのは申し訳なし。私の脳では無理。

#### 橋本孝治 3位

詰将棋の形をした素数判定器。既存の作品の仕立て直しなので、「創作」というより「研究」を評価して一票を投じます。特にsoga氏の「詰将棋コンピュータ」は解答募集も行われていない(そもそも「出題」が可能かどうかすら分からない)ので、こうした橋渡しの作品は必要だと思います。



天使詰 101手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							香	銀	角	一
							科		銀	二
							歩	歩	皇	三
							皇		王	四
							香			五
								王	爵	六
							爵			七
										八
										九

持駒 飛桂

34 飛 24 飛 同飛 同玉 25 飛 14 玉 15 飛 24  
玉 13 飛成 同玉 15 香 14 飛 同香 同玉 34 飛  
24 香 同飛 13 玉 15 香 14 飛 同香 24 玉 25  
飛 14 玉 15 飛 24 玉 25 飛 13 玉 15 飛 14 飛  
22 角生 24 玉 14 飛 同玉 34 飛 24 飛 同飛 同  
玉 13 角生 14 玉 34 飛 24 香 同飛 13 玉 15  
香 14 飛 同香 24 玉 25 飛 14 玉 15 飛 24 玉  
25 飛 13 玉 15 飛 14 飛 同飛 同玉 34 飛 24  
飛 同飛 13 玉 15 飛 14 香 25 桂 24 玉 14 飛  
同玉 13 桂成 同玉 15 香 14 飛 同香 同玉 34  
飛 24 香 同飛 13 玉 15 香 14 飛 同香 24 玉  
25 飛 14 玉 15 飛 24 玉 25 飛 13 玉 15 飛 14  
角 同飛 同玉 36 角 25 香 同角 13 玉 15 香  
14 金 同香 24 玉 15 金 まで 101 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							香	銀		一
							科		銀	二
							歩	歩		三
							皇	王	香	四
							香	角	金	五
								王	爵	六
							爵			七
										八
										九

持駒 なし

9pt

**受賞コメント 一乗谷酔象**

狭い所で駒を繰り替えながらできるだけ多く王手をかけ続ける手順探しを狙いとしています。余分な条件付けのない純粋な天使詰としては初出題でした。天使詰の解き方に馴染みがなく本ルール独特の延命目的の手順が見えづらいので予想以上の難問となりました。残念ながら正解者なしでしたので今回の入賞は望外の成果です。ルールも含めた新しさが評価されたものと思います。解図に挑戦された方々、投票してくださった皆様に感謝いたします。

★ 次に記載の 4 位の同氏作 4 万手越えの作品を抑えて 3 位に入ったのが本作。狭い中での延命手順探しがこれまでの作品とは一味変わった作品として受け入れられました。個人的にはかなりの時間を掛けて解図しましたが解けずに悔しかったです。

**橋本孝治 1 位**

狭い空間と限られた手段の組み合わせから紡ぎ出される長手数。天使詰はまだ作例が少ないので、「時は金なり」シリーズとは別の分野が開拓されることへの期待も込めて、この作に一票を投じます。

**変寝夢 2 位**

天使詰は短い手順が好みです、これぐらいの……。天使詰って悪魔詰の親戚ぐらいかなと思っていましたが、実際は、対抗系の考え方に似ている気がします。

**たくぼん 次点**

2018 年で一番悩んだのが本作です。



4位 長5 一乗谷酔象 2018/3  
第100回 WFP 作品展 100-9

「時は金なり3」  
成禁非王手可天使詰 40547手  
9 8 7 6 5 4 3 2 1

						王	銀	金		一
				歩		歩	歩			二
				香	王	飛	飛	角		三
				香	歩	金	銀	角		四
		桂	桂			桂	銀	金		五
		歩	歩			桂		歩		六
	歩					皇				七
歩	歩	歩	歩	歩	歩	皇	歩	歩		八
爵	歩									九

攻方持駒 歩  
受方持駒 歩

作意手順は WFP119 号をご覧ください

Pontamon 1位

どうにか解いた長過ぎる長編。

たくぼん 3位

正解できてよかったです。

4位 長10 たくぼん 2018/11  
第107回 WFP 作品展 107-4

禁欲協力詰 73手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	皇			一
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		二
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		三
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		四
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		五
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		六
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		七
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		八
王		ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス		九

攻方持駒 金31  
受方持駒 なし

89 金 同玉 99 金 同と左 88 金 同玉 89 金 同

7pt

と左上 78 金 同玉 88 金 同と左 77 金 同玉  
78 金 同と左上 67 金 同玉 77 金 同と左 66 金  
同玉 67 金 同と左上 56 金 同玉 66 金 同と左  
55 金 同玉 56 金 同と左上 45 金 同玉 55 金  
同と左 44 金 同玉 45 金 同と左上 34 金 同玉  
44 金 同と左 33 金 同玉 34 金 同と左上 23 金  
同玉 33 金 同と左 22 金 同玉 23 金 11 玉 22  
金打 同と左 12 金打 同と引 22 金 同玉 23 歩  
11 玉 22 金 同杏 同歩成 同と左 13 香 12 金  
同香生 21 玉 11 金 まで 73 手

Pontamon 2位

取り組んだけどカラクリが見えなくて解けな  
かったのが残念。

変寝夢 3位

これは力作。一目一本道の趣向と考えてしま  
っていた（小野小町氏作が脳裏に浮かんでま  
した）。

縫田光司 3位

この初形のインパクトに1票です。

6位 長9 たくぼん 2018/9  
第105回 WFP 作品展 105-9

5pt

強欲協力詰 75手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									と	一
									歩	二
				歩	歩	歩	歩	皇		三
		歩	歩					銀		四
	香	歩	香	歩	歩	香	香	と		五
				飛	ス	角	角	ス		六
	歩			飛	桂	桂		歩		七
		桂	ス	ス		ス	皇			八
	皇	金		王		全	全	全		九

持駒 なし

58 飛 同と 同飛 同玉 55 桂 36 と 48 全 同玉  
45 桂 26 と右 38 全 同玉 28 全 同玉 38 金 17  
玉 16 と 同玉 27 金 25 玉 26 金 24 玉 15 金  
35 玉 25 金 45 玉 35 金 55 玉 45 金 65 玉 55  
金 74 玉 65 金 85 玉 75 金 同玉 76 歩 64 玉  
65 歩 53 玉 54 歩 43 玉 44 歩 54 玉 55 歩 65  
玉 66 歩 76 玉 77 歩 87 玉 88 歩 同金 同金



同玉 99 金 78 玉 89 金 77 玉 78 金 66 玉 67 金 55 玉 56 金 44 玉 45 金 33 玉 34 金 22 玉 23 金 11 玉 12 金 同玉 24 桂 11 玉 12 金 まで 75 手

**はなさかしろう 1 位**

手は狭いわりに序盤は結構悩みました。中盤以降、崖の上と下をつなげるために階段を作り直しつつ往復するところまでくると楽しさもひとしおです。

**7 位 長 15 神無七郎 2018/7  
安南詰最長手数作品！**

安南詰 99 手 ※利き二歩有効

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			皇						一
		と	皇		科				二
			皇	糸	ス	糸			三
	ス		ス	皇	玉	科		歩	四
	糸	ス					王		五
	桂		糸	歩					六
			銀		糸		歩		七
	ス		ス						八
		桂							九

持駒 角香歩3

46 香 45 角 35 角 同と 45 香 同玉 57 角 44 玉 45 歩打 43 玉 44 歩 55 玉 66 角 45 玉 57 角 44 玉 45 歩打 43 玉 44 歩 55 玉 68 角 45 玉 57 角 44 玉 45 歩打 43 玉 44 歩 55 玉 66 歩 同と直 同角 45 玉 57 角 44 玉 45 歩打 43 玉 44 歩 55 玉 66 歩 同香 同角 45 玉 57 角 44 玉 46 香 45 香 同香 55 玉 66 香 同香 同角 45 玉 57 角 44 玉 46 香 45 香 同香 55 玉 66 香 同香 同角 45 玉 57 角 44 玉 46 香 45 香 同香 55 玉 66 香 同と 同角 45 玉 57 角 44 玉 45 歩打 43 玉 44 歩 55 玉 84 角 45 玉 57 角 44 玉 45 歩打 43 玉 44 歩 55 玉 93 角成 45 玉 57 馬 44 玉 45 歩 同玉 56 銀 44 玉 35 馬 同桂 45 歩 43 玉 44 歩 まで 99 手

**縫田光司 2 位**

最長手数記録更新に敬意と祝意を込めて。

**たくぼん 次点**

もっとたくさんの人に解いて欲しかった作品。こんだけ素晴らしいのに。

**8 位 長 3 たくぼん 2018/4  
第 100 回 WFP 作品展 100-6**

3pt

協力自玉詰 100 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
皇	皇	皇	糸	糸	糸	糸	糸	糸	四
銀	銀	銀	銀	香	金	金	金	金	五
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	六
	角				皇				七
		香	桂	と	桂				八
王	桂	王						香	九

持駒 桂

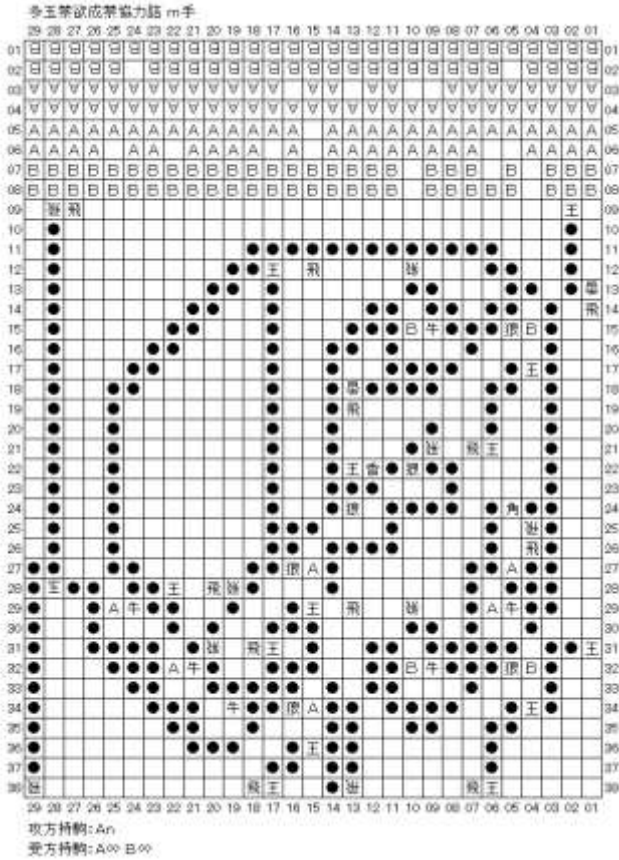
59 と 79 玉 69 と 同玉 77 香 58 玉 69 角 67 玉 58 角 77 玉 69 桂 78 玉 67 角 69 玉 78 角 58 玉 69 角 49 玉 58 角 38 玉 47 角 37 玉 39 香 27 玉 38 角 37 玉 29 角 27 玉 18 角 17 玉 29 角 18 香 同香 27 玉 38 角 18 玉 29 角 27 玉 38 角 37 玉 27 角 38 香 同香 48 玉 49 香 同玉 37 香 38 香 同角 58 玉 47 角 同玉 49 香 48 角 同香 37 玉 19 角 28 香 同角 48 玉 37 角 57 玉 59 香 58 香 48 角 68 玉 57 角 59 玉 48 角 68 玉 59 角 67 玉 69 香 68 香 同香 77 玉 67 香 59 香成 79 香 78 角 同香 67 玉 49 角 58 香 同角 同杏 69 香 68 角 同香 同杏 49 角 58 香 同角 78 玉 67 角 87 玉 78 角 同杏 88 香 同杏 まで 100 手

**橋本孝治 2 位**

縦に狭く横に長い密室では角も香は足の短い駒になるので不便なはず。でも、この 2 種の駒を組み合わせると、これだけ多彩な使い方ができることを本局は示しています。「100 手」という手数にこだわらなければ別の表現もできたかと思いますが、100 回記念にふさわしい力作でした。

8位 長 14 神無太郎 2018/8  
 「角谷予想」～「詰将棋コンピュータ」を検証  
 す(Ⅲ)

3pt



手数：攻方持駒の燕 A の枚数が  $n > 0$  のときの詰手数  $m$  は、後述する  $N_a$ 、 $S_a$ 、 $N_b$ 、 $S_b$  を使って、 $m = 162N_a + 82S_a + 44N_b + 110S_b - 89$  と表すことができる。詳細は WFP122 号 P48 をご覧下さい

酒井博久 2位  
 詰将棋コンピュータの可能性を拡張。



10位 長 12 神無七郎 2018/5  
 Fairy of the Forest #55-02

2pt

協力詰 109手  
 持駒 なし

											一
											二
											三
											四
											五
											六
											七
											八
											九

持駒 歩33

38歩 47玉 48歩 同玉 49歩 同金上 37歩 47玉 48歩 58玉 59歩 同金 47歩 同玉 48歩 37玉 38歩 48玉 49歩 同桂成 37歩 57玉 58歩 67玉 68歩 同玉 69歩 同金上 57歩 67玉 68歩 78玉 79歩 同金 67歩 同玉 68歩 57玉 58歩 68玉 69歩 同桂成 57歩 77玉 78歩 87玉 88歩 同玉 89歩 98玉 77歩 88桂成 99歩 87玉 88歩 77玉 78歩 88玉 89歩 同金 77歩 同玉 78歩 67玉 68歩 78玉 79歩 同圭 67歩 同玉 68歩 57玉 58歩 68玉 69歩 同金 57歩 同玉 58歩 47玉 48歩 58玉 59歩 同圭 47歩 同玉 48歩 37玉 38歩 48玉 37歩 28歩 49歩 47玉 48歩 37玉 49桂 同金 38歩 同玉 39歩 29玉 19飛 同玉 17飛 18飛 同飛 29玉 19飛打 まで109手

酒井博久 3位  
 趣向と謎解きの融合。

【長編部門・総評】

橋本孝治  
 去年に引き続き、この部門は作者数・作品数が少ない感じがします。以前は中編部門だけ閑古鳥が鳴いていた時期もあったのですが、長編部門も似た傾向が出てきたようで心配です。惜しかったのは早詰だった北村太路氏

作（ボカスカ協力詰 85 手）。機械検討ができないルールで長編を作るのは難しいことですが、果敢なチャレンジは評価したいと思います。

### 変寝夢

長編は長 6 が飛び抜けていました。早送りで軌跡を見ているだけでも相当楽しめました。

### 【推理将棋・プルーフゲーム 部門】

投票者：橋本孝治、Pontamon、はなさかしろう、たくぼん、計 4 名

投票者は昨年と同じで 4 名。今回の候補作は 2 1 作だが、作者が Pontamon 氏とはなさかしろう氏の 2 名のみという異常事態。詰将棋メモの出題が現在行われておらず WFP のみの発表が原因と思われる。

 1 位 推 5 Pontamon 2018/7

第 103 回 WFP 作品展 103-1  
75 角左不成まで 12 手

10pt

「12 手目の 75 角左不成で詰んだよ」  
[条件]

1) 12 手目の 75 角左不成で詰み

76 歩 14 歩 44 角 13 角 53 角成 57 角生 52 馬 同飛 58 玉 86 角 59 歩 75 角左生 まで 12 手



(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
皇	科	爵	季	王	季	爵	科	皇	一	
				飛					二	
季	季	季	季		季	季	季		三	
								季	四	
		馬							五	
	馬	歩							六	
歩	歩		歩		歩	歩	歩	歩	七	
				玉			飛		八	
香	桂	銀	金	歩	金	銀	桂	香	九	

持駒 なし

### 受賞コメント Pontamon

拙作への投票ありがとうございます。創っている時はどれも簡単に解かれてしまうように見えるのですが、この作品を見直してみると色々な要素が入っていて、確かに中々よい出来だったようです。

昨年創ったこの「75 角左不成まで」と詰パラの「86 飛成まで」と「85 飛成まで」の最終手指定の 12 手 1 条件 3 作がきっと私の代表作となるでしょう。(これらに匹敵する作品を創れる気がしない 笑)


★ 12 手にもかかわらず 1 条件でこれだけの手順を実現されたのは見事の一言です。

はなさかしろう 1 位

12 手で 1 手明示のみというのが素晴らしい。52 馬がぴったりの一手で解き心地も良かったです。

たくぼん 1 位

解けませんでしたねえ。これは脱帽です。

 2 位 推 21 はなさかしろう 2018/12

ちょっと早い 2019 年年賀詰作品展 5  
推理将棋×中立駒 年賀 2019

6pt

「謹賀新年！ 指し初めしてきたよ」  
「賀正！！ どんな将棋にしたの？」  
「駒を並べた後、99 香を中立駒にしてから対局を始めて、11 手で詰んだよ」

「ふうむ。年賀要素がピンと来ないなあ」  
 「その、1と9がにじゅうで、2019……」  
 「……こじつけたね」  
 「それだけじゃないよ。最終手の31n香成が初めての成なんだ」  
 「なるほど、平成最後の31年だね。でもそれだけでは棋譜は再現できないな」  
 「あと、歩頭への着手があったよ」

(条件)

- ・初形配置のうち99香のみを中立駒にした局面から11手で詰んだ
- ・最終手の31n香成が初めての成
- ・歩頭への着手があった

76歩 42金 33角生 41玉 42角生 99角生 53角生 22飛 62金 36n香 31n香成 迄 11手

後手の持駒：銀

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	瀬	香		王	如	科	皇	一
			金				飛		二
歩	歩	歩	歩	角	歩		歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
皇	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 歩2

**受賞コメント はなさかしろう**

見ていただいた皆様、投票いただいた皆様、誠にありがとうございます。推理将棋は年々作るのが大変になってきましたが、昨年も参加できて良かったです。

中立駒は推理将棋のスパイスになりそうなのですが、本問のように中立化する駒は明かした方が良いかも。中立香の打ち場所に1条件必要なのが残念ですが、条件に31が入ったので良しとします。

★ あの橋本さんが解けなかったということ


ビックリしましたが、中立駒はなかなか厄介な代物とは私も思います。平成31年で31n香成で仕上げたのはお見事でした。

**橋本孝治 1位**

中立駒使用ということもあったでしょうが、盲点に嵌りました。考えて解けなかった作は自然と上位に推しとなります。

**たくぼん 次点**

中立駒を上手く利用して妙味のある手順を構築しています。

 **3位 推7 はなさかしろう 2018/7**

**第103回 WFP 作品展 103-11①**

**入れ替え作業のあっけない幕切れその2 ①2手 5pt**

「さっきの将棋、途中までしか見られなかったんだけど、その後どうなった？」  
 「どこまで見てたの？」  
 「先手番で、初形配置から一对の駒の位置を入れ替えただけの状態になったところまでだよ」  
 「ああ、それなら、その後2手で詰んだよ」  
 「なるほど。手間の割にあっけない幕切れだったね」

[条件]

- ・初形配置から一对の駒の位置を入れ替えただけの先手番局面から2手で詰んだ

入替： 59の先手王と22の後手角。  
 23王 22飛 迄 2手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	瀬	香	王	香	瀬	科	皇	一
							飛		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	王	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	皇	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

### 受賞コメント はなさかしろう

本問はとにかくシンプルなのが売りですね。私は WFP103-11⑤も気に入っているのですが、条件に注釈があるのが難です。

★ 代表で1作目への投票ということで本作が3位に入りましたが、一連の作品群に対する評価と考えたほうがいいでしょう。。

#### Pontamon 1位

目先の変った推理将棋。というより将棋パズルに近いのかも。(代表で1作目)

#### 4位 推17 はなさかしろう 2018/9

##### 第105回 WFP 作品展 105-7c

##### 推理将棋×中立駒

3pt

- ・初形配置のうち3枚を中立駒にした合法局面から6手で詰んだ
- ・棋譜表記に「寄」が2回と「上」が1回あった

中立駒：22角、49金、88角

詰手順：

58玉 77n角成 33n角成 66n馬上 76n馬寄 67n馬寄 まで6手

#### たくぼん 2位

これは参りました。私の思考の上を行く見事な作意。

#### 4位 推19 Pontamon 2018/11

##### 第107回 WFP 作品展 107-1

3pt

「11手で詰めたって？」

「うん、最終手の5段目での飛成は初の駒成だったよ」

[条件]

- 1)11手で詰み
- 2)最終手の5段目での飛成は初の駒成

76歩 44歩 同角 42飛 53角生 44飛 同角生

72銀 53飛 62玉 55飛成 まで11手

#### 橋本孝治 2位

条件の少ない推理将棋は、推理将棋の原点。合駒なしの詰上りも推理将棋らしくて良いと思います。

#### 6位 推11 はなさかしろう 2018/7

##### 第103回 WFP 作品展 103-11⑤

##### 入れ替え作業のあっけない幕切れその2⑤1手 2pt

「さっきの将棋、途中までしか見られなかったんだけど、その後どうなった？」

「どこまで見てたの？」

「先手番で、初形配置から先手陣内での一対の駒の位置と、後手陣内での二対の駒の位置を入れ替えただけの状態になったところまでだよ」

「ああ、それなら、その後1手で詰んだよ」

「いやあまったく、手間の割にあっけない幕切ればかりだったね」

[条件]

- ・初形配置から先手陣内の一対の駒の位置と、後手陣内の二対の駒の位置を入れ替えただけの先手番局面から1手で詰んだ

先手：97の歩と99の香

後手：51の玉と91の香、82の飛と81の桂

詰手順：93香生 まで1手

#### 橋本孝治 3位

将棋の初期配置から離れるのは、推理将棋のフェアリー色を強める意味で面白い試みだと思います。正直試作の域を出ない印象もあるのですが、そんな中で「実質的単騎詰」の詰上りによって、一番作品らしく感じたのが本作でした。これからの発展への期待も込めて一票を投じます。

#### 6位 推13 Pontamon 2018/8

##### 第104回 WFP 作品展 104-10

##### 593の合法手がある局面 61手

2pt

「先手のP氏が長考していますが、どうしたの

でしょうか？」

「この 61 手目の局面では 593 種の指し手がありますからね」

「何か動きがあったようです。61 手目、11 回目の王手で詰みましたね」

「今の対局を振り返ってみましょう。後手は 12 連続、先手は飛の 9 連続を含む 17 回連続で駒を取りました」

「先手の飛の着手は 1～8 マス移動のうち 6 マス移動だけが無く、3 マス移動以上は 1 回ずつでしたね」

「銀着手の 3 手後に銀の着手をすることが 3 回ありました」

「3 回の着手があった地点は無かったですね」

[条件]

- 1) 593 種の着手が可能だった 61 手目に 11 回目の王手で詰んだ
- 2) 後手は 12 連続、先手は飛の 9 連続を含む 17 回連続で駒を取った
- 3) 先手の飛移動は 6 マス移動だけが無く、3 マス移動以上は 1 回ずつ
- 4) 銀着手の 3 手後の銀着手が 3 回
- 5) 3 回着手地点は無い

76 歩 32 飛 33 角生 52 玉 22 角生 37 飛生 31 角生 27 飛生 53 角生 47 飛生 23 飛生 17 飛生 13 飛生 19 飛生 43 飛生 58 香 同玉 62 銀 41 飛生 29 飛生 61 飛生 39 飛生 21 飛生 49 飛生 11 飛生 69 飛生 81 飛生 67 飛生 83 飛生 87 飛成 73 飛生 76 龍 93 飛生 79 龍 91 飛生 89 龍 69 香 99 龍 89 香 97 龍 22 銀 57 龍 同玉 66 銀 同玉 43 玉 52 銀 34 玉 49 香 65 香 同玉 64 歩 同玉 63 銀 同玉 72 銀 同玉 23 玉 32 銀 12 玉 11 飛成 まで 61 手

たくぼん 3 位

凄いですね。解けなくて残念。

## 【推理将棋・PG 部門 総評】

橋本孝治

例によって自分が見た分からの投票ですが、今回は「詰将棋メモ」分が候補にないので、あまり心配は要らないみたいですね。

## 【総評】

変寝夢

来年はどんなルールが流行るのか興味が湧きますねえ。

上谷直希

作品投稿でも投票でもあまり参加できず申し訳ないです。令和はもっと WFP に参加できるようにがんばりたい……とは思っています……！

- ★ 今回も、推理将棋・PG 部門の投票者が少ないのが気がかりです。PG 部門とはいいながらここ数年プルーフゲームの発表が無いのもちょっと残念。Twitter で話題が出ていますので発表して欲しいですね。
- ★ 今回も投票締切日になっても投票者数が少なかったため、過去に投票頂いた皆さんにお願いメールをさせて頂きました。そのおかげで何とか例年並みの投票者数となり無事発表することが出来ました。無理な依頼にお応え頂いた方々、そして投票頂いた皆様には感謝申し上げます。
- ★ 投票者が少ないようでしたら選考方法も考えないといけない(妖精賞のような担当者による選考)のですが、お気に入り投票という考え方も捨てがたく、しばらくはこの方法でいこうと思います。投票者数を増やすよう何か算段を考えたいと思います。

## 解答募集締切一覧

---

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

### 2019年6月15日(土)

#### 第111回 WFP 作品展

フェアリー作品 14題  
推理将棋 3題

#### Fairy of the Forest #59

協力詰 3題

### 2019年7月15日(月)

#### 祝改元記念作品展

フェアリー作品 6題

### 2019年8月15日(木)

#### 第112回 WFP 作品展

フェアリー作品 15題  
推理将棋 2題

## 作品募集締切一覧

---

現在特にありません。

---



## あとがき

FairyTopIX2018 お気に入り投票受付終了して結果発表を掲載しました。毎回、投票者数が少なかったらどうしようと胃が痛くなるくらい考えてしまうのですが、今年も何とかお願いメールを踏まえて二桁の投票を得ることができホッとしています。お願いメールに嫌な思いの方もいらっしゃるかもしれないという思いもあります。そんな方々には申し訳ありません。

なお結果発表を見ての感想などありましたらメールにて受付いたします。2, 3日以内でしたら今月号にて追記いたしますのでよろしくお願い致します。

### 【お知らせ】

ホームページの「WFPのページ」に

WFP 作品展登場ルールのまとめ(PDF)を更新しました。第30～112回までに出题された作品のルールをまとめたものです。ルールでの疑問点がありましたら参照してください。

WFP 作品展登場ルールのまとめ(第30～112回) 担当：神無七郎

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfp/ule112.pdf>

たくぼん

2019年 第131号

### Web Fairy Paradise

非売品

平成三十一年五月号

平成三十一年五月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp